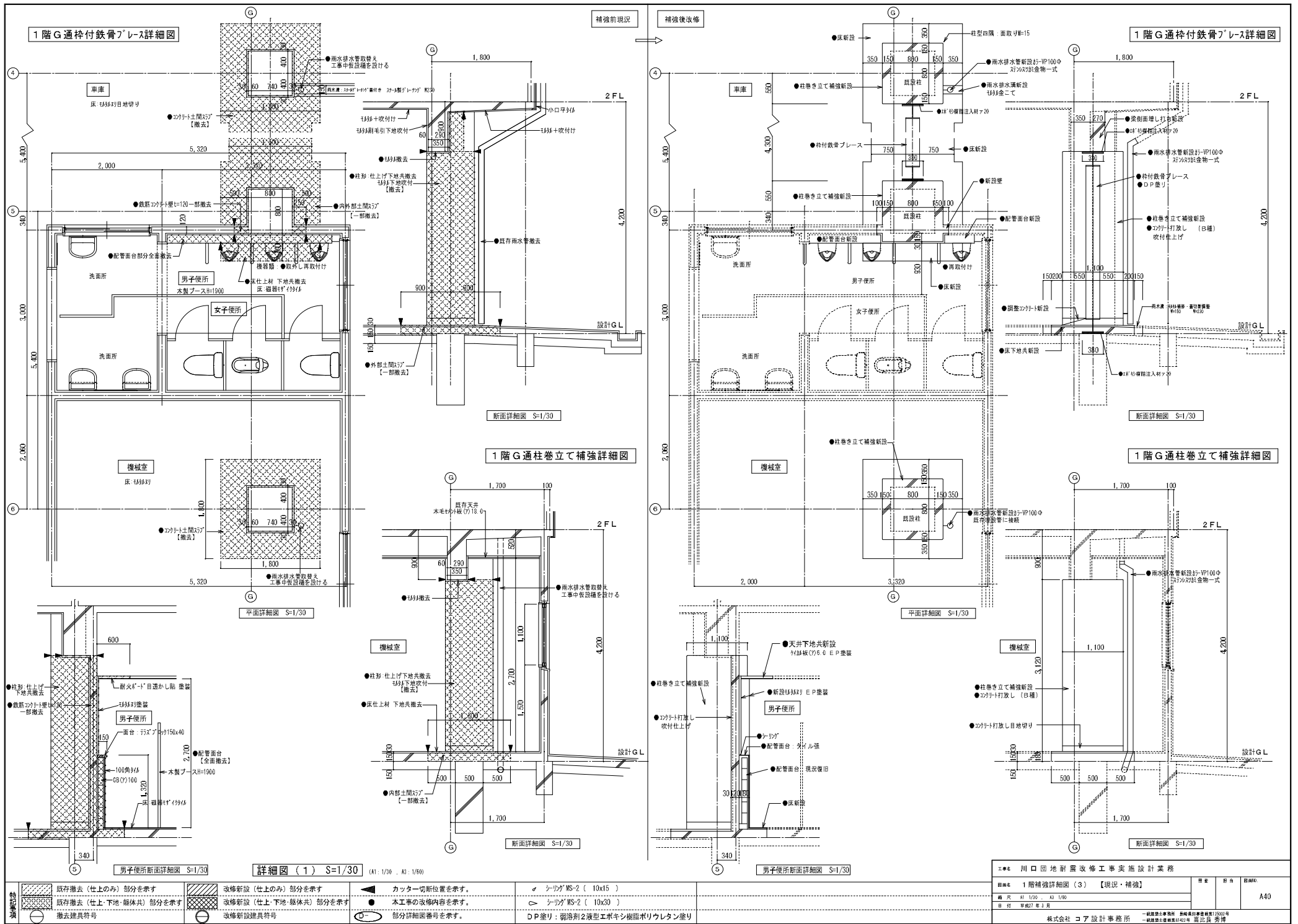


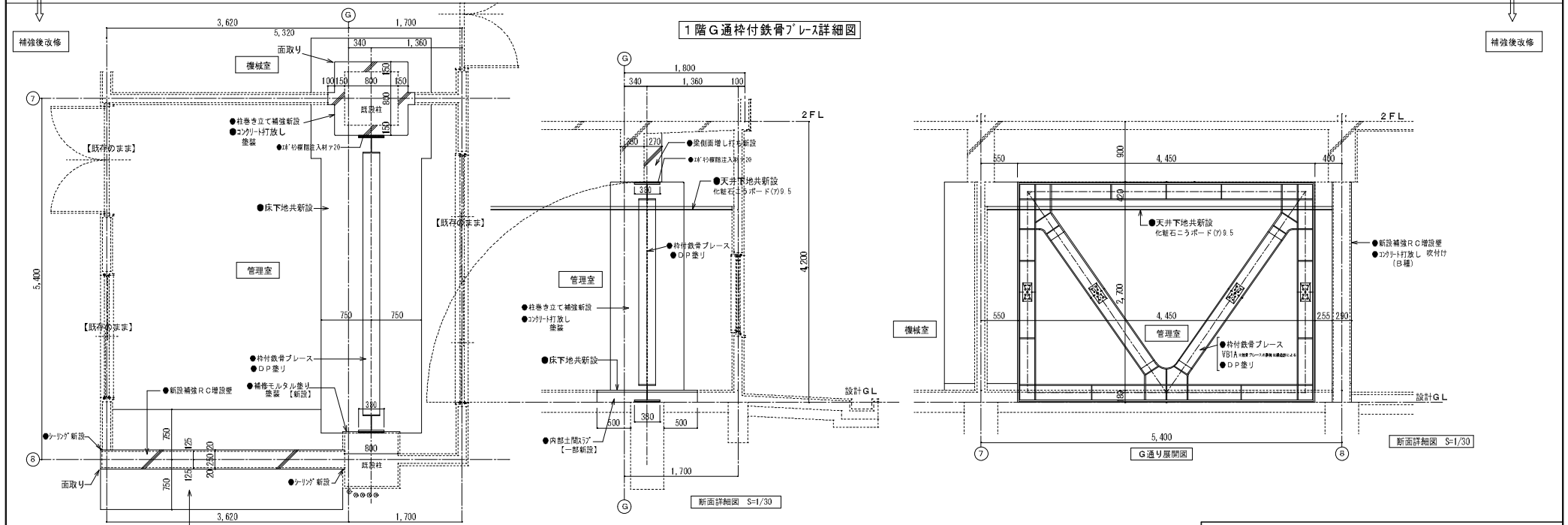
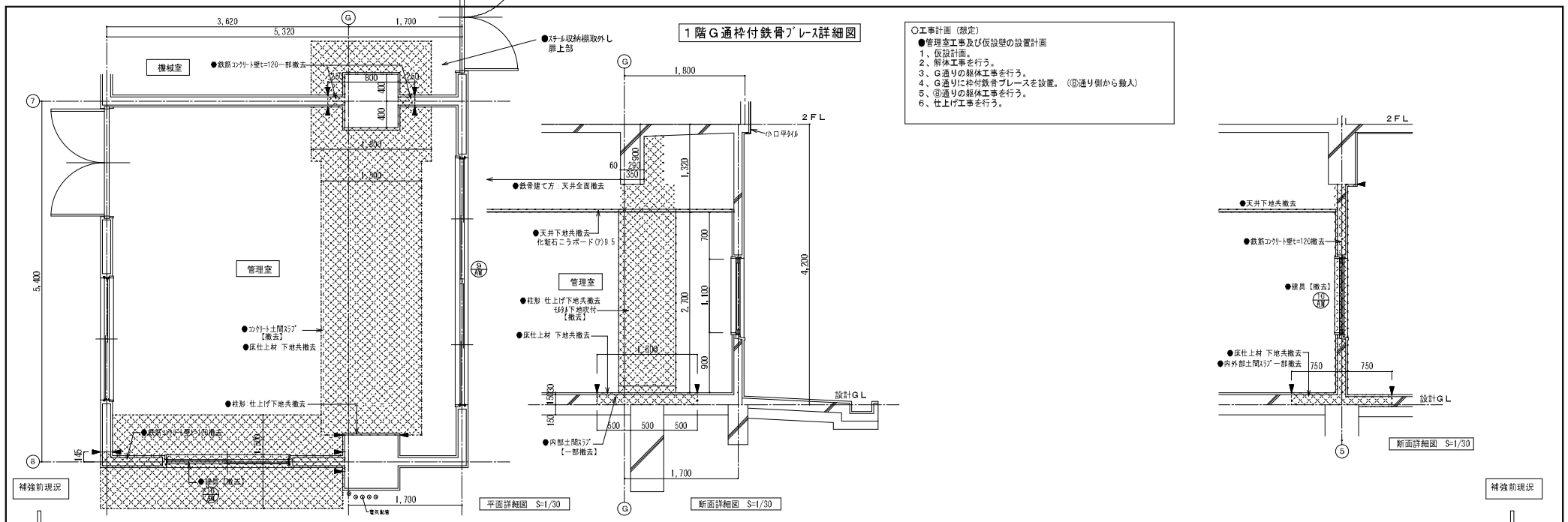
詳細図 (1) S=1/30 (A1: 1/30, A3: 1/50)

<p>● 既存撤去 (柱上のみ) 部分を示す</p> <p>● 既存撤去 (柱上・下地・躯体共) 部分を示す</p> <p>○ 撤去建築符号</p>	<p>■ 改修新設 (柱上のみ) 部分を示す</p> <p>■ 改修新設 (柱上・下地・躯体共) 部分を示す</p> <p>○ 改修新設建築符号</p>	<p>▲ カッター一切取位置を示す。</p> <p>● 本工事の改修内容を示す。</p> <p>○ 部分詳細図番号を示す。</p>	<p>○ シーリング MS-2 (10x15)</p> <p>○ シーリング MS-2 (10x30)</p> <p>○ DP 塗り: 弱溶剤 2 液型エポキシ樹脂ポリウレタン塗り</p>	<p>工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務</p> <p>図名 1階補強詳細図 (2) 【現況・補強】</p> <p>縮尺 1/200 43/1/60</p> <p>日付 平成27年1月</p> <p>設計者 株式会社 コア 設計事務所</p> <p>監理者 一級建築士事務所 事務所所在地 東京都千代田区千代田 1-1-1 1200号 一級建築士 建築士 尾崎 昌久</p> <p>図番 A39</p>
--	--	---	--	---



工事名 川口団地耐震改修工事実施設計業務 図名 1階補強詳細図(3) 【現況・補強】		用紙 用紙 図番 A40
縮尺 M 1/20 A3 1/80 B 付 完成27年3月	株式会社 コア 設計事務所 一級建築士事務所 事務所東京都千代田区12000号 一級建築士事務所 事務所東京都千代田区1427号 電比長 秀博	

既存撤去(柱上のみ)部分を示す 既存撤去(柱上・下地・躯体共)部分を示す 撤去建築符号	改修新設(柱上のみ)部分を示す 改修新設(柱上・下地・躯体共)部分を示す 改修新設建築符号	カッター一切取位置を示す。 ● 本工事の改修内容を示す。 ○ 部分詳細図番号を示す。	● シリカMS-2 (10x15) ○ シリカMS-2 (10x30) ○ D.P塗り: 弱溶剤2液型エポキシ樹脂ポリウレタン塗り
---	---	--	---

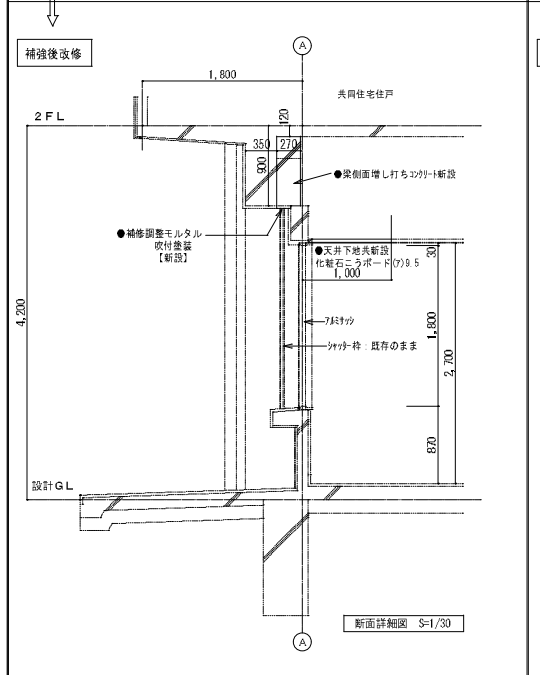
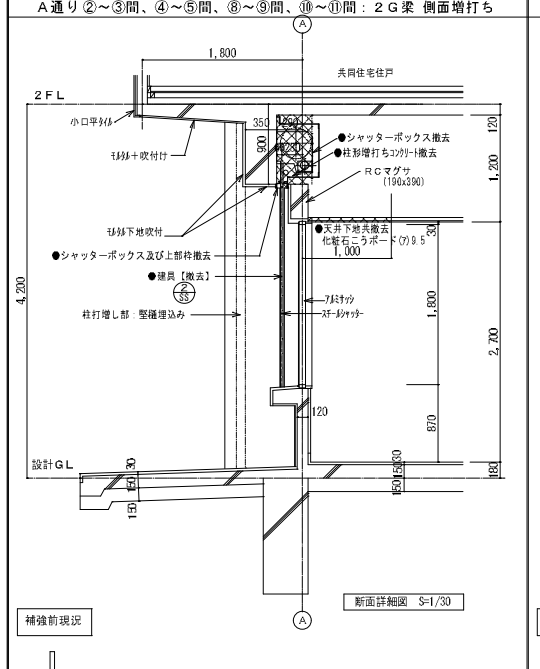


<p>● 既存撤去 (仕上のみ) 部分を示す</p> <p>● 既存撤去 (仕上・下地・躯体共) 部分を示す</p> <p>● 撤去建築符号</p>		<p>● 改修新設 (仕上のみ) 部分を示す</p> <p>● 改修新設 (仕上・下地・躯体共) 部分を示す</p> <p>● 改修新設建築符号</p>		<p>▲ カッター一切断位置を示す。</p> <p>● 本工事の改修内容を示す。</p> <p>○ 部分詳細図番号を示す。</p>		<p>○ 工事計画 (想定)</p> <p>● 管理室工事及び仮設壁の設置計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 仮設計画。 解体工事を行う。 G通りの躯体工事を行う。 G通りに枠付鉄骨ブレースを設置。(③通り側から施工) ③通りの躯体工事を行う。 仕上げ工事を行う。 		<p>● 新設補強RC増設壁</p> <p>● コナート打放し 吸付付 (B種)</p>	
<p>○ シリング MS-2 (10x15)</p> <p>○ シリング MS-2 (10x30)</p>		<p>● 柱巻きて補強新設</p> <p>● コナート打放し 塗装</p> <p>● 床下地共新設</p> <p>● 内部分土間スラブ【一部撤去】</p>		<p>● 天井下地共新設 化粧石こうボード(C)9.5</p> <p>● 枠付鉄骨ブレース</p> <p>● OP塗り</p>		<p>● 天井下地共新設 化粧石こうボード(C)9.5</p> <p>● 枠付鉄骨ブレース</p> <p>● OP塗り</p>		<p>● 補修モルタル塗り 塗装【新設】</p> <p>● シリング新設</p> <p>● コナート打放し</p> <p>● 床下地共新設</p> <p>● 内部分土間スラブ【一部撤去】</p>	

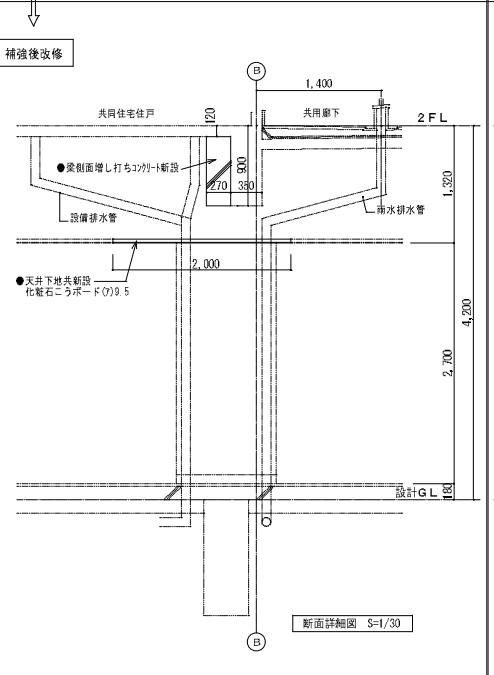
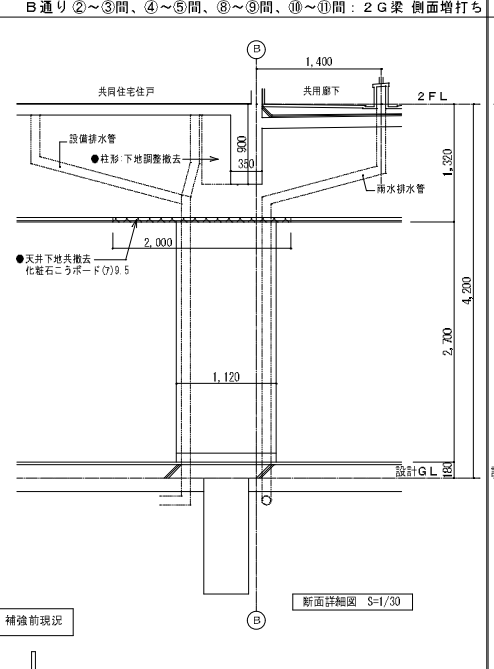
<p>工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務</p> <p>図名 1階補強詳細図(4) 【現況・補強】</p> <p>縮尺 M 1/20 A3 1/30</p> <p>日付 平成27年3月</p>		<p>冊数</p> <p>枚数</p> <p>図号</p>	<p>A41</p>
--	--	-------------------------------	------------

一般建設士事務所 群馬県建築士会 群馬県建築士会 群馬県建築士会
 一般建設士事務所 群馬県建築士会 群馬県建築士会 群馬県建築士会

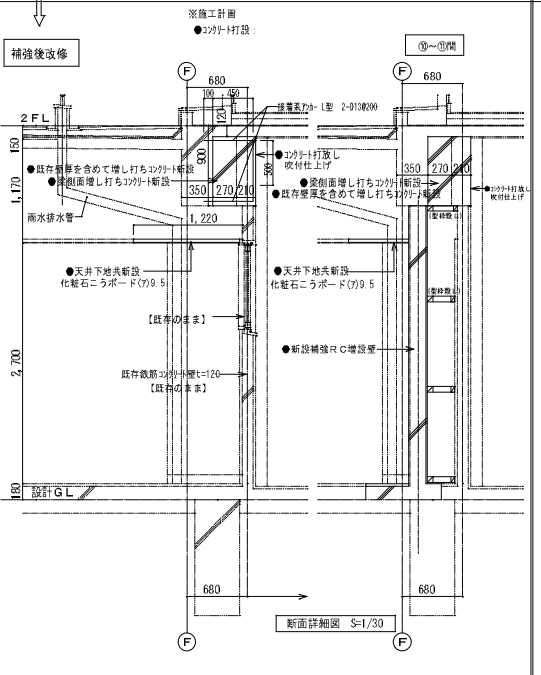
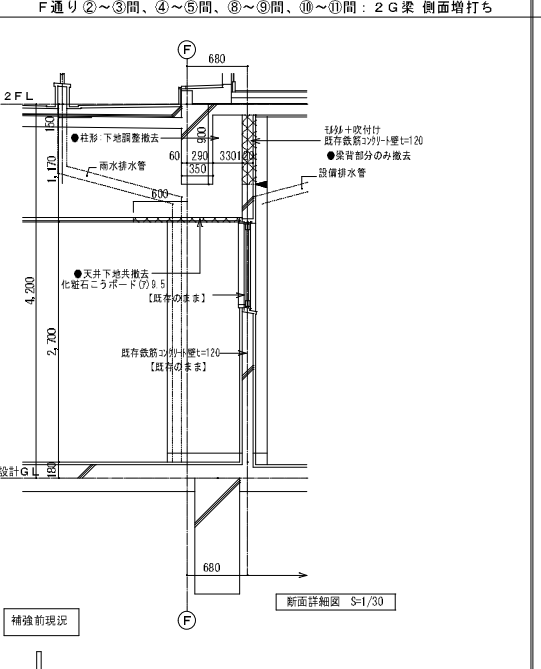
上階 新設 枠付鉄骨ブレース用梁ふかし 詳細図 S=1/30



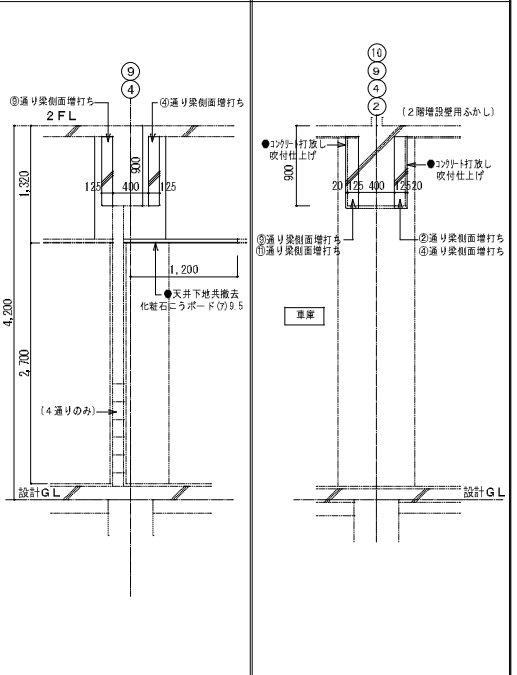
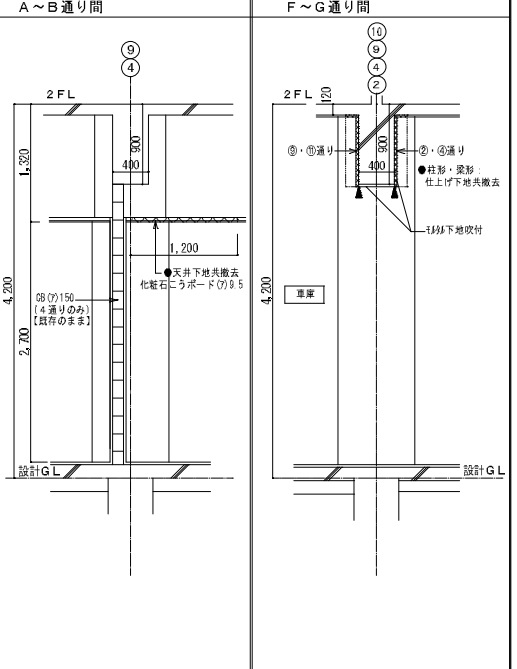
B通り ②~③間、④~⑤間、⑧~⑨間、⑩~⑪間：2G梁 側面増打ち



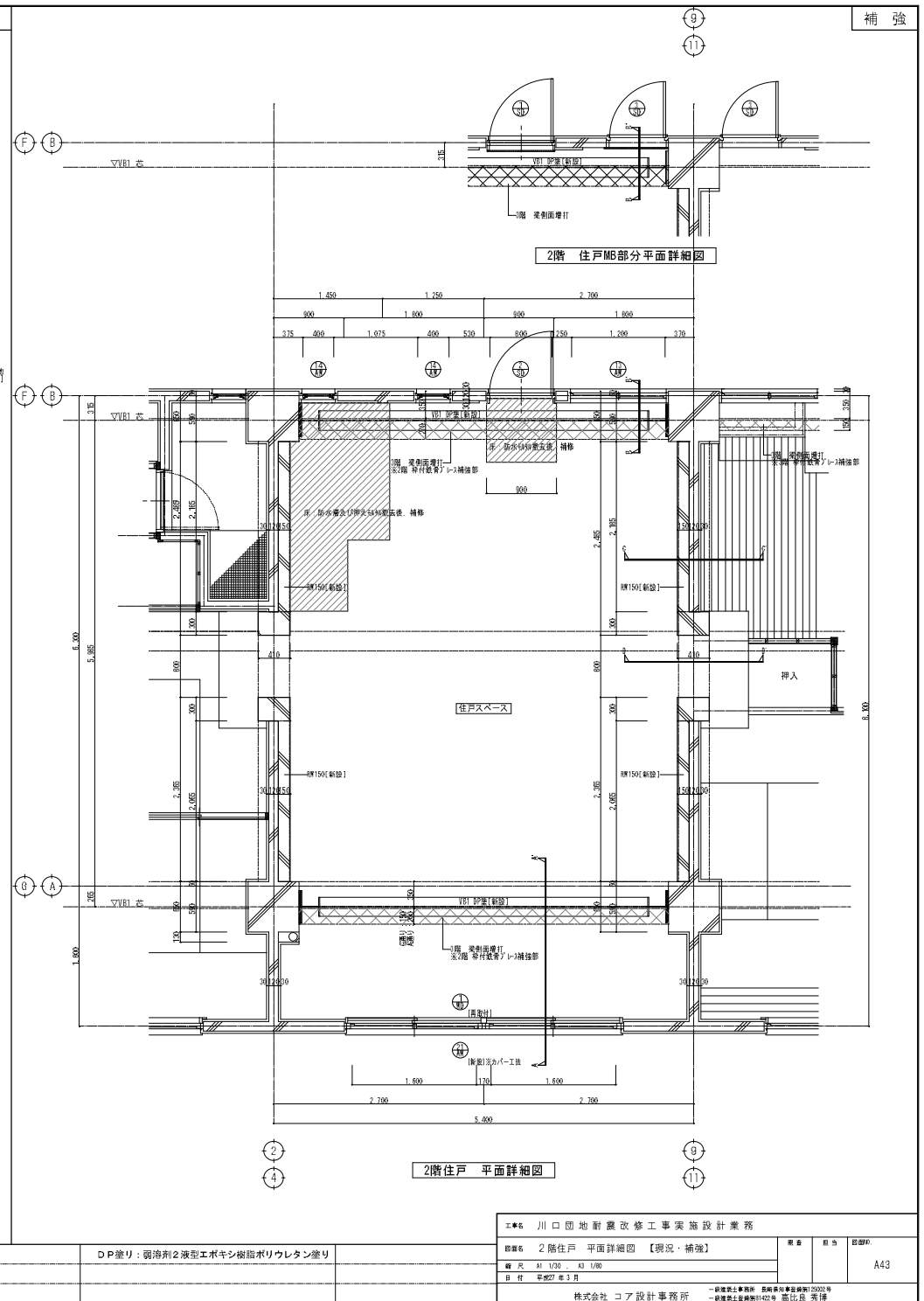
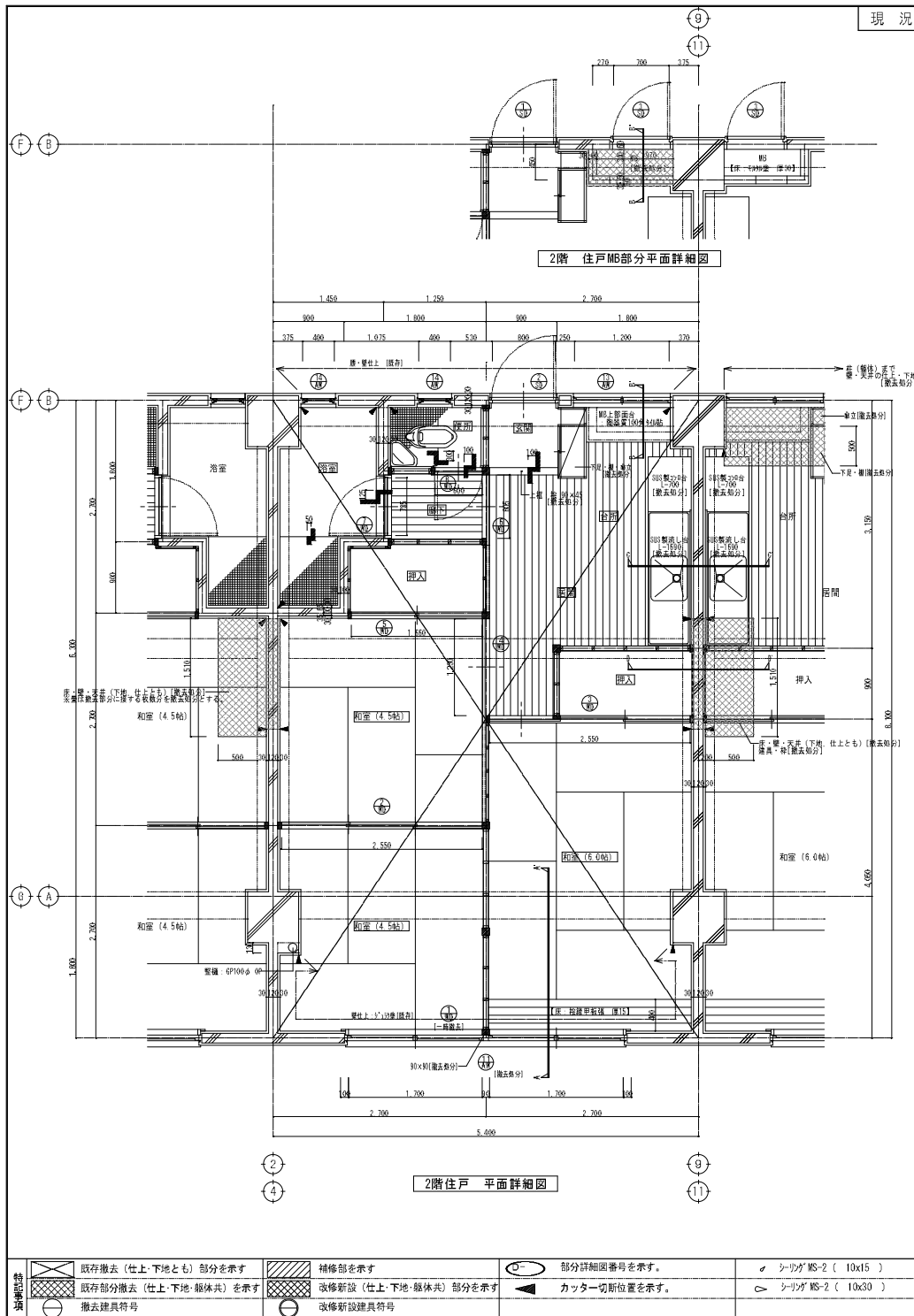
F通り ②~③間、④~⑤間、⑧~⑨間、⑩~⑪間：2G梁 側面増打ち



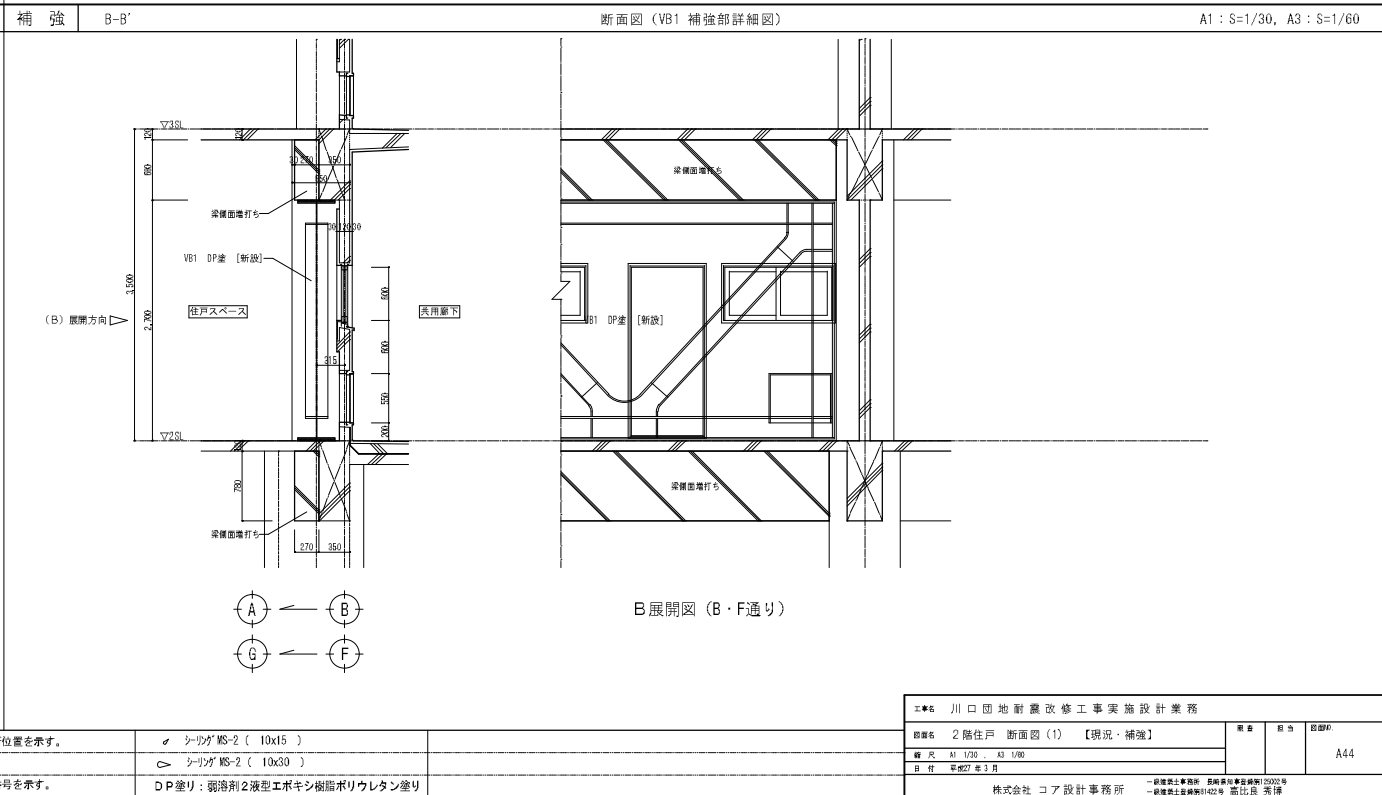
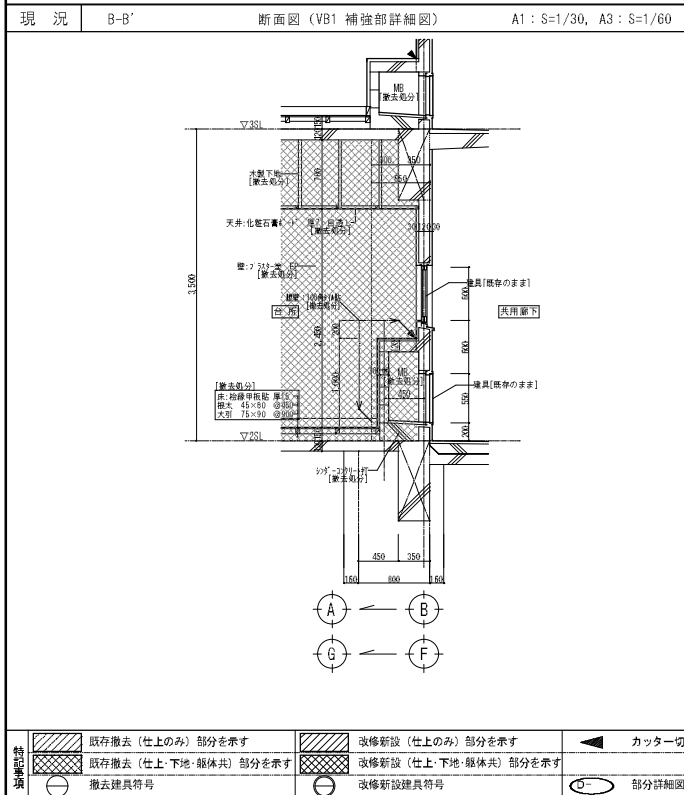
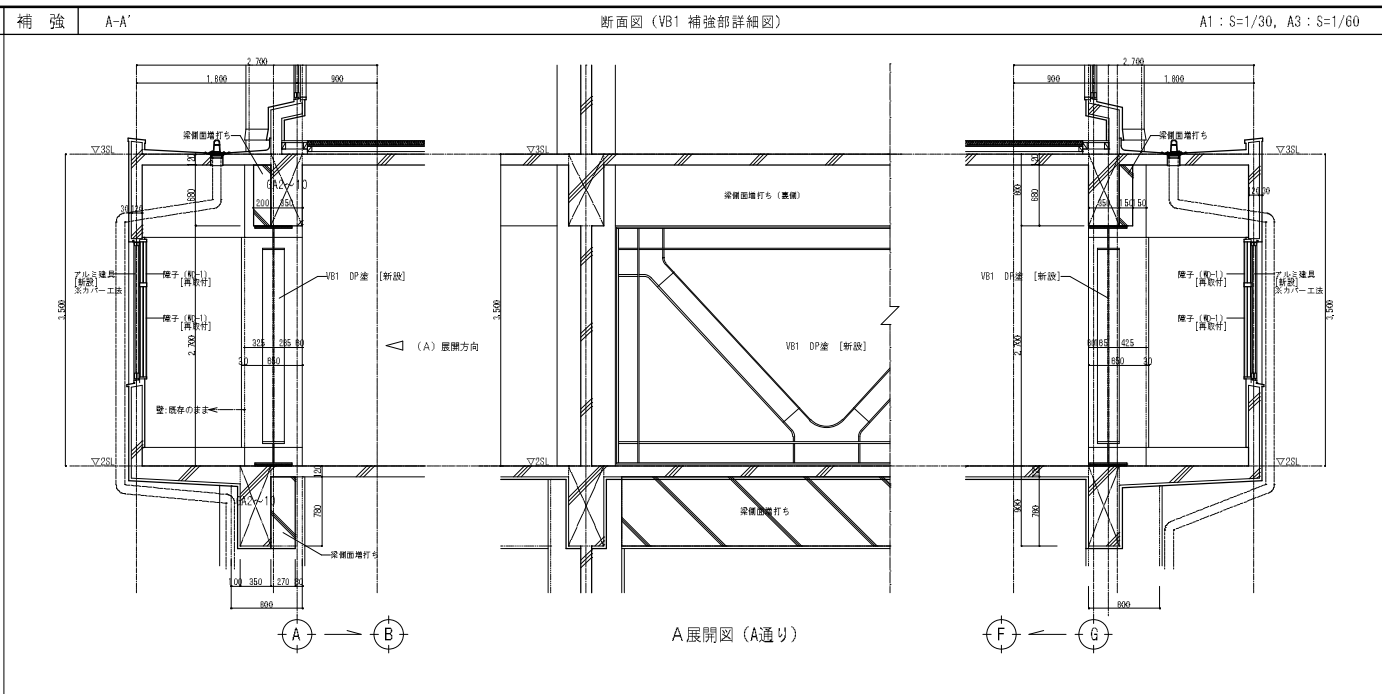
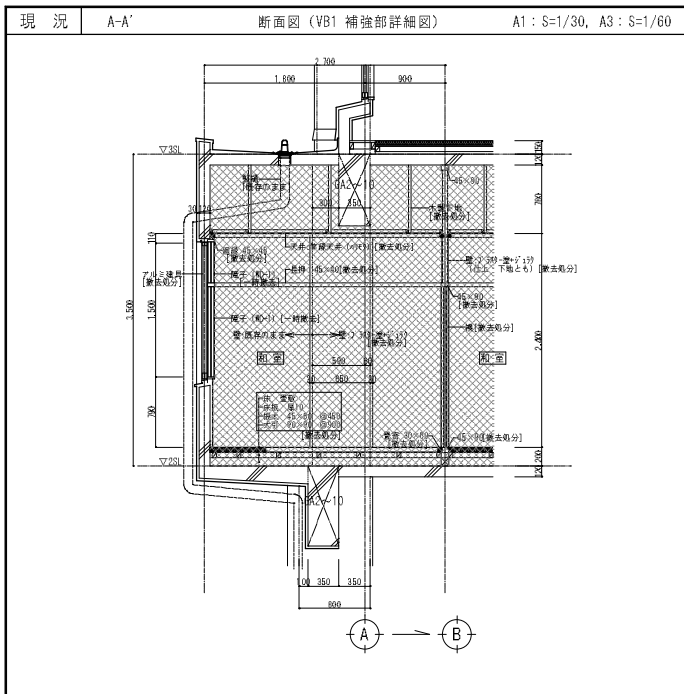
上階 新設 耐力壁 増厚部用梁ふかし 詳細図 S=1/30



<p>■ 既存撤去 (仕上のみ) 部分を示す</p> <p>■ 既存撤去 (仕上・下地・躯体共) 部分を示す</p> <p>○ 撤去建具符号</p>		<p>■ 改修新設 (仕上のみ) 部分を示す</p> <p>■ 改修新設 (仕上・下地・躯体共) 部分を示す</p> <p>○ 改修新設建具符号</p>		<p>▲ カッター一切斯位置を示す。</p> <p>● 本工事の改修内容を示す。</p> <p>○ 部分詳細図番号を示す。</p>		<p>○ シリング MS-2 (10x15)</p> <p>○ シリング MS-2 (10x30)</p>		<p>工番 川口団地耐震改修工事実施設計業務</p> <p>図番 1階補強詳細図 (5) 【現況・補強】</p> <p>縮尺 1/30 43/180</p> <p>日付 平成27年3月</p> <p>株式会社 コア設計事務所 一般建築士事務所 事務所所在地 東京都中央区新富町1-20-9号 電話 03-5561-1432 番比呂 秀博</p>		<p>図名 図番</p> <p>A42</p>	
--	--	--	--	---	--	---	--	--	--	-------------------------	--

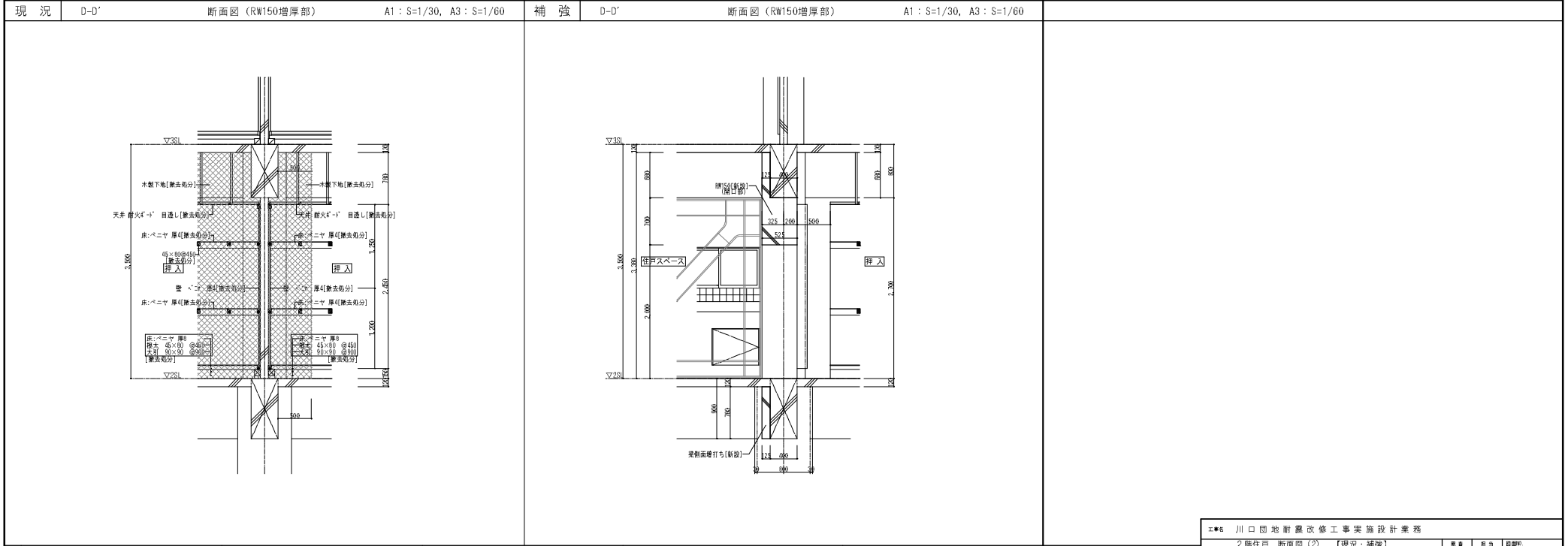
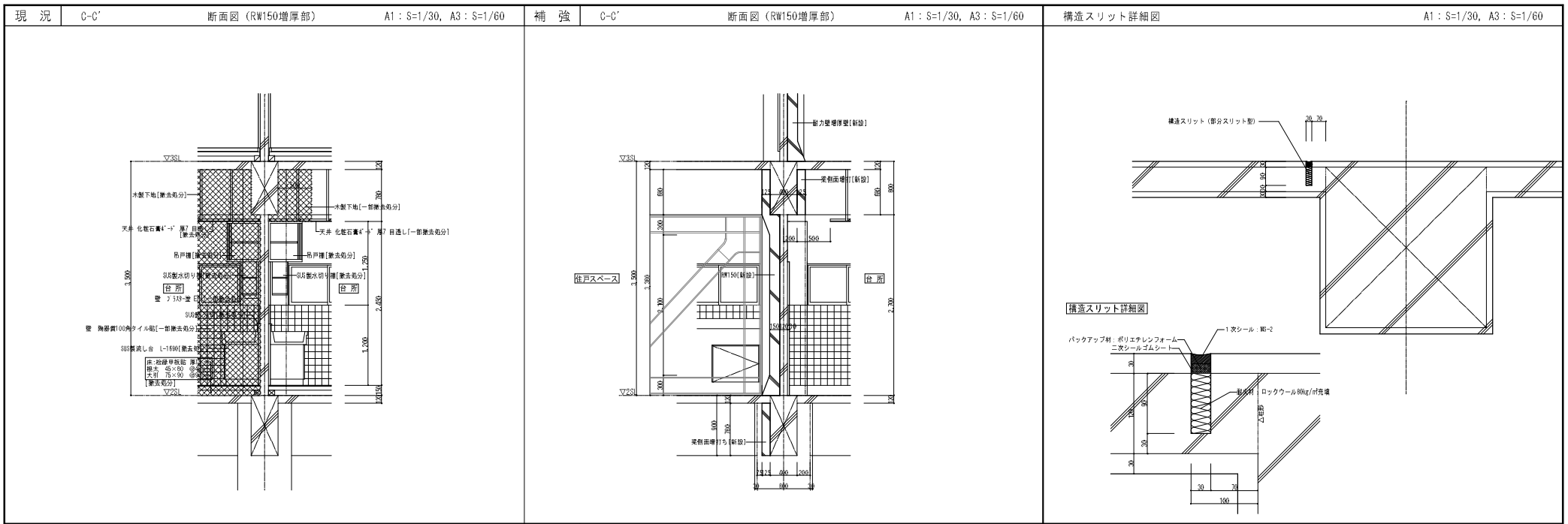


<p>既存撤去 (仕上・下地とも) 部分を示す</p> <p>既存部分撤去 (仕上・下地・躯体共) を示す</p> <p>撤去建具符号</p>	<p>補修部を示す</p> <p>改修新設 (仕上・下地・躯体共) 部分を示す</p> <p>改修新設建具符号</p>	<p>○ 部分詳細図番号を示す。</p> <p>◐ カッター切断位置を示す。</p>	<p>◐ シリウ MS-2 (10x15)</p> <p>◐ シリウ MS-2 (10x30)</p>	<p>D.P.塗り: 弱液剤2液型エポキシ樹脂ポリウレタン塗り</p>	<p>工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務</p> <p>図名 2階住戸 平面詳細図 【現状・補強】</p> <p>縮尺 A1 1/20 A3 1/40</p> <p>B 付 第27 冊 3月</p> <p>株式会社 コア設計事務所</p>	<p>頁数 1</p> <p>冊数 1</p> <p>図番 A43</p> <p>一級建築士事務所 長岡豊年事務所15003号 一級建築士登録第1402号 高比良 秀博</p>
---	---	--	---	-------------------------------------	---	--

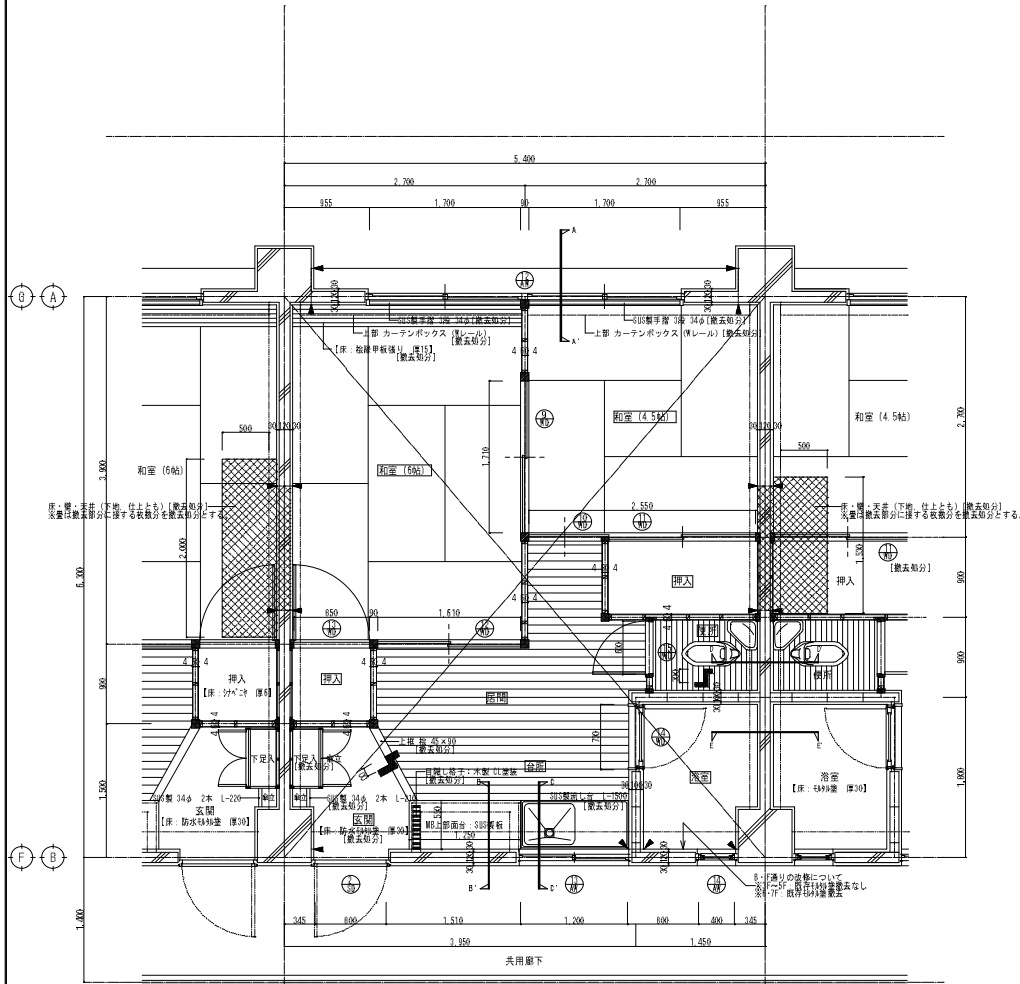


特記事項	既存撤去 (仕上のみ) 部分を示す	改修新設 (仕上のみ) 部分を示す	カッター一切断位置を示す。	シリゲ MS-2 (10x15)
	既存撤去 (仕上・下地: 躯体共) 部分を示す	改修新設 (仕上・下地: 躯体共) 部分を示す	部分詳細図番号を示す。	シリゲ MS-2 (10x30)
	撤去建具符号	改修新設建具符号	部分詳細図番号を示す。	D P塗り: 弱溶剤2液型エポキシ樹脂ポリウレタン塗り

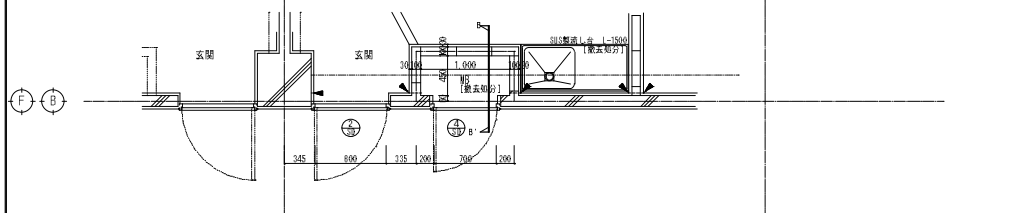
工名	川口団地耐震改修工事実施設計業務		
図名	2階住戸 断面図 (1) 【現況・補強】	頁数	1/5
縮尺	A1: 1/20, A3: 1/60	図番	A44
日付	平成27年3月	設計者	一級建築士事務所 長岡事務所長岡事務所 一級建築士監修 1422号 高比良 秀博
株式会社 コア設計事務所			



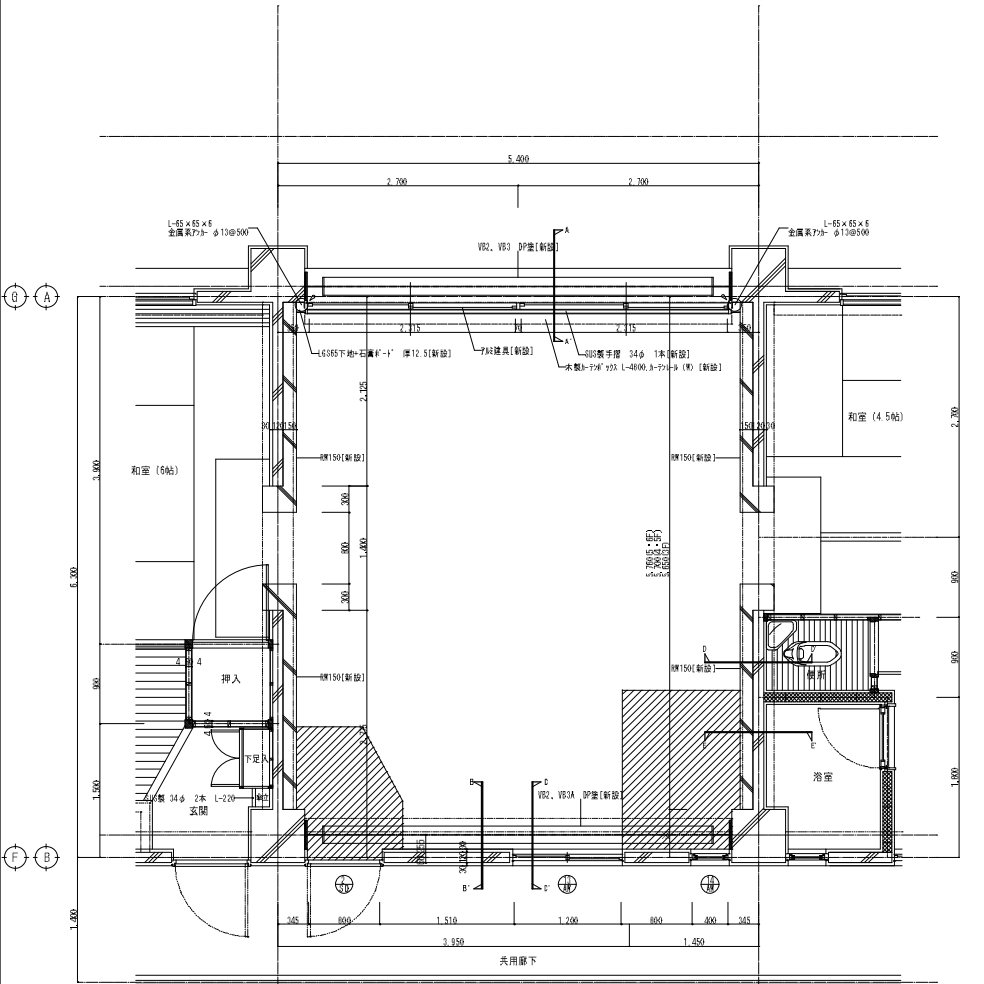
特記事項 ① ② ③	既存撤去 (仕上のみ) 部分を示す	改修新設 (仕上のみ) 部分を示す	カッター一切断位置を示す。	シリク MS-2 (10x15)	株式会社 コア設計事務所 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 代表取締役 高比良 秀博
	既存撤去 (仕上・下地・躯体共) 部分を示す	改修新設 (仕上・下地・躯体共) 部分を示す	部分詳細図番号を示す。	シリク MS-2 (10x30)	
	撤去建具符号	改修新設建具符号	D P 塗り：弱溶剤2液型エポキシ樹脂ポリウレタン塗り		
				エネキ 川口団地耐震改修工事実施設計業務 対象名 2階住戸 断面図(2) 【現況・補強】 図名 構造スリット図 縮尺 1/100 43/100 日付 平成27年3月	



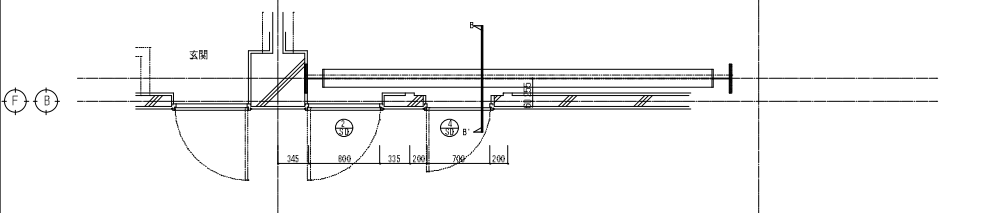
3~7階住戸 平面詳細図



3~7階住戸 MB部分平面詳細図

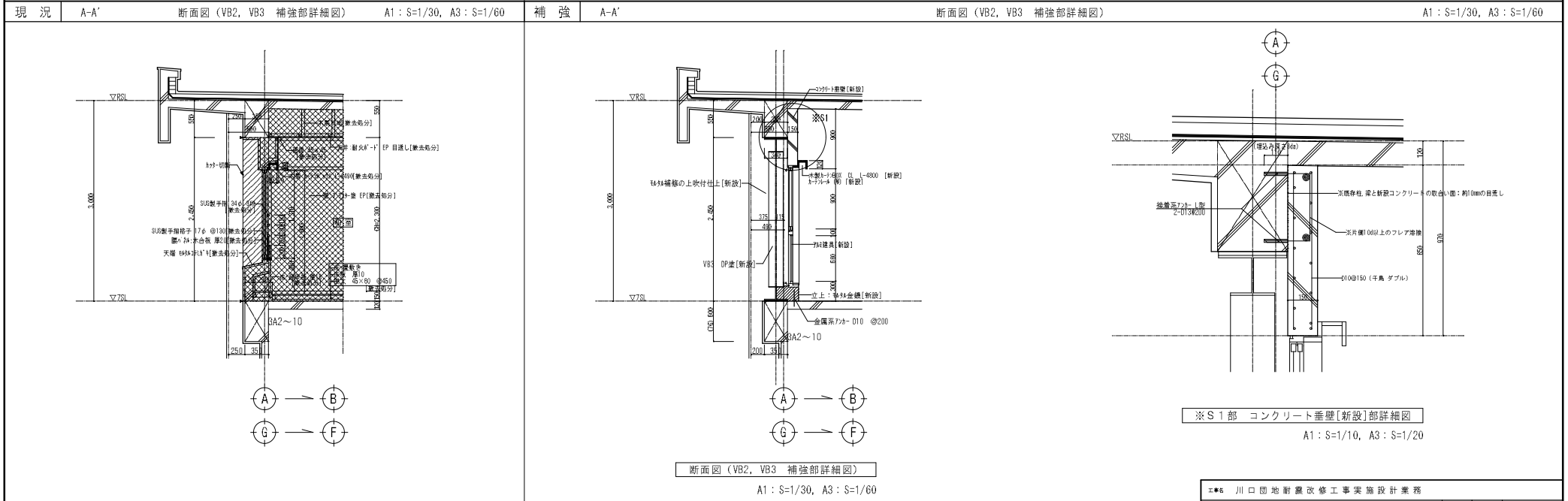
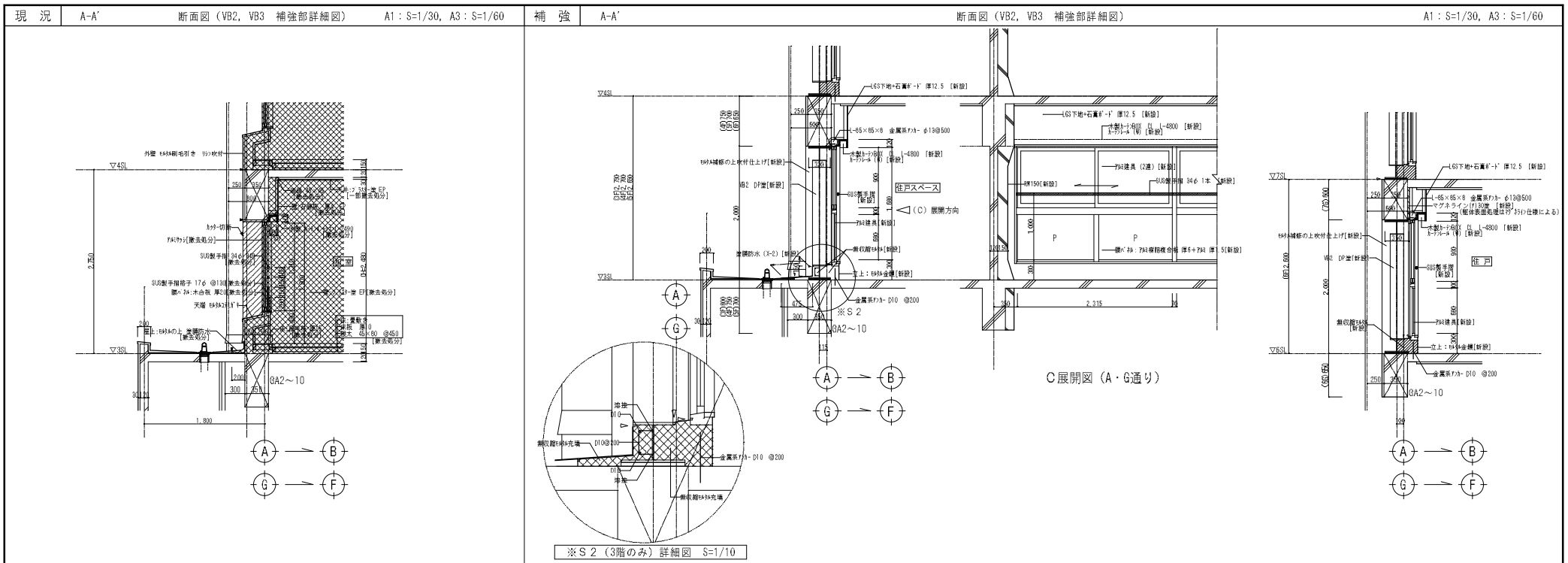


3~7階住戸 平面詳細図

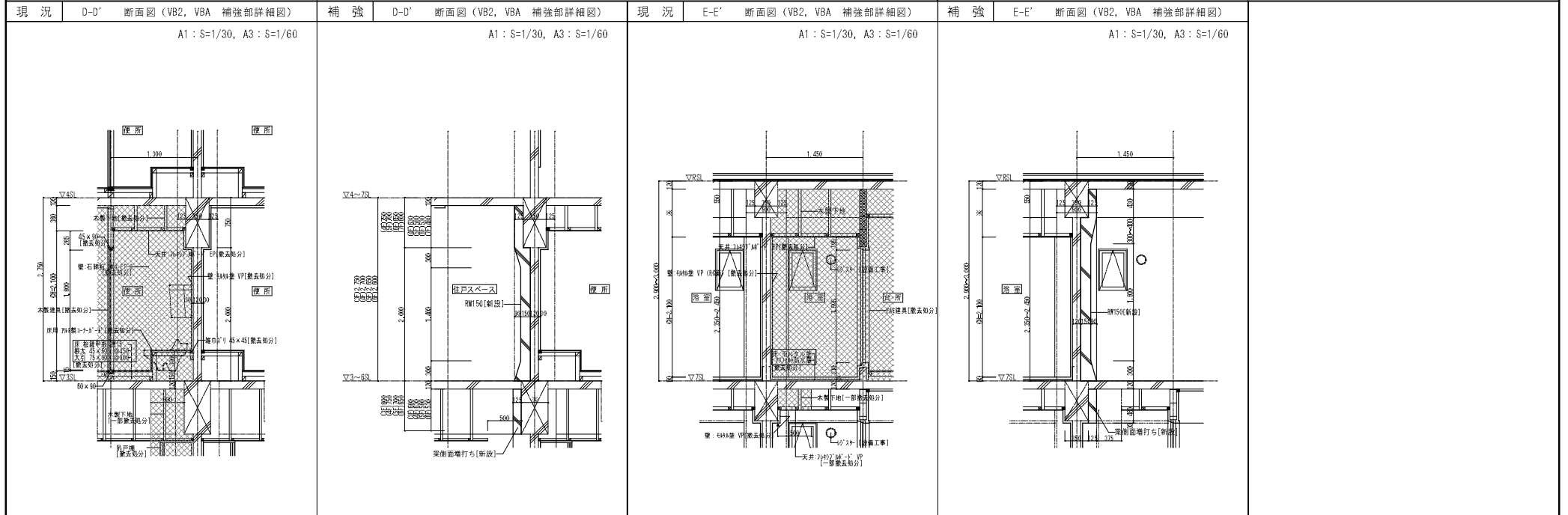
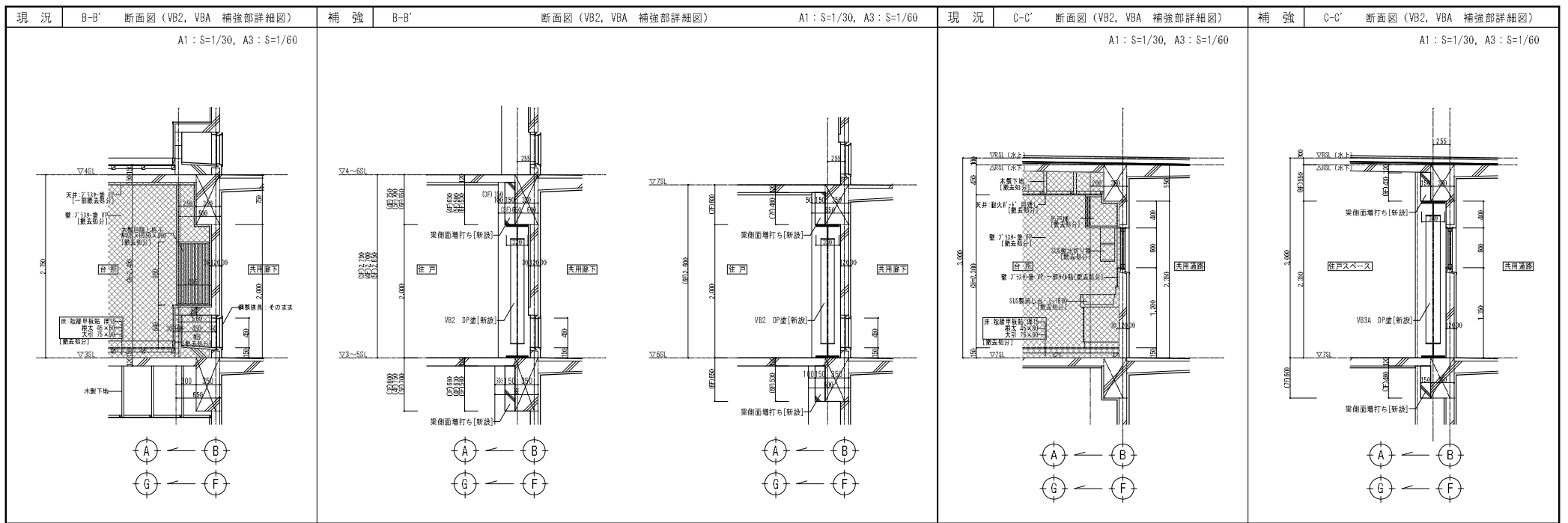


3~7階住戸 MB部分平面詳細図

特記事項 既存撤去 (仕上・下地・躯体共) 部分を示す 既存一部撤去 (仕上・下地・躯体共) を示す 撤去建具符号 改修新設 (仕上のみ) 部分を示す 改修新設 (仕上・下地・躯体共) 部分を示す 改修新設建具符号	カッター一切断位置を示す。 	● シリングMS-2 (10x15) ○ シリングMS-2 (10x30) D.P.塗り: 弱溶剤2液型エポキシ樹脂ポリウレタン塗り	工番 川口団地耐震改修工事実施設計業務 図名 3~7階住戸 平面詳細図 【現況・補強】 縮尺 A1 1/20, A3 1/60 日付 平成27年3月 株式会社 コア設計事務所 一級建築士事務所 長岡事務所長岡15003号 一級建築士事務所1402号 高辻良 発注	
	図例 3~7階住戸 平面詳細図 【現況・補強】	原 図 訂 正 訂 正 訂 正	図 番 訂 正 訂 正 訂 正	図 号 A46
	特 記 特 記 特 記 特 記	特 記 特 記 特 記 特 記	特 記 特 記 特 記 特 記	特 記 特 記 特 記 特 記
	特 記 特 記 特 記 特 記	特 記 特 記 特 記 特 記	特 記 特 記 特 記 特 記	特 記 特 記 特 記 特 記



既存撤去 (仕上のみ) 部分を示す 既存撤去 (仕上・下地・躯体共) 部分を示す 撤去建具符号	改修新設 (仕上のみ) 部分を示す 改修新設 (仕上・下地・躯体共) 部分を示す 改修新設建具符号	カッター一切断位置を示す。 部分詳細図番号を示す。	● シリカゲ MS-2 (10x15) ○ シリカゲ MS-2 (10x30) □ DP塗り：弱溶剤2液型エポキシ樹脂ポリウレタン塗り	工番 川口団地耐震改修工事実施設計業務 図名 3~7階住戸 断面図(1) 【現況・補強】 縮尺 A1 1/30 A3 1/60 B 付 平成27年3月 製図者 田中 裕 校核者 高橋 秀博 設計者 株式会社 コア 設計事務所 一級建築士事務所 長崎県建築士会第15003号 一級建築士登録第1452号 高橋 秀博
---	---	------------------------------	---	--



特 注 〇 〇 〇 〇	既存撤去（仕上のみ）部分を示す	改修新設（仕上のみ）部分を示す	カッター一切取位置を示す。	シリカ MS-2 (10x15)	工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務 図名 3～7階住戸 断面図(2) 【現況・補強】 縮尺 A1 1/20 A3 1/60 日付 平成27年3月 株式会社 コア設計事務所	原 則 用 途 図 号 A48
	既存撤去（仕上・下地・躯体共）部分を示す	改修新設（仕上・下地・躯体共）部分を示す	本工事の改修内容を示す。	シリカ MS-2 (10x30)		
	撤去建具符号	改修新設建具符号	部分詳細図番号を示す。	D P塗り：弱溶剤2液型エポキシ樹脂ポリウレタン塗り		
	株式会社 コア設計事務所 一級建築士事務所 長崎県長崎市長崎15000号 一級建築士登録第11452号 高田長 秀博					

符 号	① AV 見込 70	計: 1箇所	② AV 見込 70	計: 7箇所	③ AV 見込 70	計: 2箇所	④ AV 見込 70	計: 1箇所	⑤ AV 見込 70	計: 3箇所		
使用箇所	1階 店舗		1階 店舗		1階 店舗		1階 店舗		1階 店舗			
型 式	F I X 高開戸		F I X		F I X 高開戸		F I X		引違い窓 (2連)			
材 料	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ			
仕 上												
硝 子	強化ガラス 厚6		強化ガラス 厚6		強化ガラス 厚6		強化ガラス 厚6		透明 厚3			
金 具	付属金物一式、 押板、フロアヒンジ (ストッパー付)		付属金物一式、 押板、フロアヒンジ (ストッパー付)		付属金物一式、 押板、フロアヒンジ (ストッパー付)		付属金物一式、 押板、フロアヒンジ (ストッパー付)		付属金物一式、 押板、フロアヒンジ (ストッパー付)			
備 考												
姿 図												
符 号	⑥ AV 見込 70	計: 1箇所	⑦ AV 見込 70	計: 1箇所	⑧ AV 見込 70	計: 1箇所	⑨ AV 見込 70	計: 1箇所	⑩ AV 見込 70	計: 2箇所		
使用箇所	1階 店舗		1階 便所		1階 便所		1階 管理室		1階 管理室			
型 式	引違い窓		引違い窓		引違い窓		引違い窓 (2連)		引違い窓			
材 料	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ			
仕 上												
硝 子	透明 厚3		複ガラス 厚4		複ガラス 厚4		透明 厚3		複ガラス 厚4、透明 厚3 (フィルム貼)			
金 具	付属金物一式、 押板		付属金物一式、 押板		付属金物一式、 押板		付属金物一式、 押板		付属金物一式、 押板			
備 考												
姿 図												
符 号	⑪ AV 見込 70	計: 4箇所	⑫ AV 見込 70	計: 1箇所	⑬ AV 見込 70	計: 4箇所	⑭ AV 見込 100	計: 1箇所	⑮ AV 見込 100	計: 2箇所	⑯ AV 見込 100	計: 1箇所
使用箇所	1階 店舗		1階 店舗		1階 店舗		1階 機械室		1階 機械室		1階 店舗	
型 式	寮開戸		両開戸 F I X		片開戸 F I X		引違い窓		両開戸		自動ドア	
材 料	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		スチール		アルミ	
仕 上									OP			
硝 子	透明 厚3		強化ガラス 厚6		強化ガラス 厚6		網入り 厚6.8		網入り 厚6.8		強化ガラス 厚6	
金 具	付属金物一式、ピボットヒンジ、DC		付属金物一式、 押板、フロアヒンジ (ストッパー付)		付属金物一式、 ピボットヒンジ、DC		付属金物一式		付属金物一式、 ピボットヒンジ		付属金物一式	
備 考												
姿 図												

共通事項

建具表 S=1/50

(A1: 1/50 A3: 1/100)

エネ 川口団地耐震改修工事実施設計業務

図名 建具表 (1) 1階建具表 【現況】

縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100

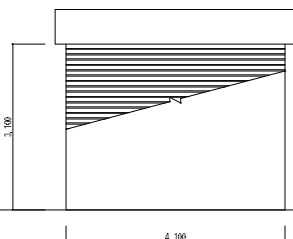
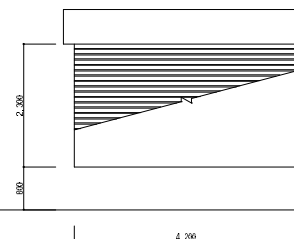
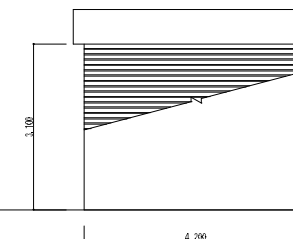
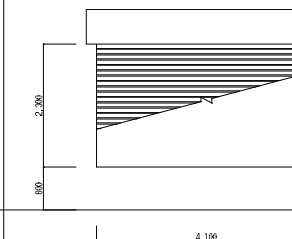
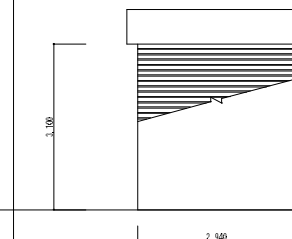
B付 平成27年3月

株式会社 コア設計事務所

頁数 1/5

図印 No. A49

一級建築士事務所 長岡豊年事務所 15003号
一級建築士事務所 1402号 高比良 秀博

符 号	① 見込 -	計: 1箇所	② 見込 -	計: 7箇所	③ 見込 -	計: 2箇所	④ 見込 -	計: 1箇所	⑤ 見込 -	計: 2箇所
使用箇所	1階 店舗		1階 店舗		1階 店舗		1階 店舗		1階 店舗	
型式	天井形電動式シャッター		天井形電動式シャッター		天井形電動式シャッター		天井形電動式シャッター		天井形電動式シャッター	
材質	スチール		スチール		スチール		スチール		スチール	
仕上	OP		OP		OP		OP		OP	
付属金具	付属金物一式、		付属金物一式、		付属金物一式、		付属金物一式、		付属金物一式、	
姿 図										
符 号										
使用箇所										
型式										
材質										
仕上										
付属金具										
姿 図										
符 号										
使用箇所										
型式										
材質										
仕上										
付属金具										
姿 図										

共通事項

建具表 S=1/50
(A1: 1/50 A3: 1/100)

工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名	建具表 (2) 1階建具表2 【現況】	頁数	1/5
縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	図印	A50
日付	平成27年3月	<small>一級建築士事務所 長岡豊年建築設計事務所</small> <small>一級建築士事務所 高比良 秀博</small>	
株式会社 コア設計事務所			

符 号	① AV	見込 70	計: 22箇所	② AV	見込 70	計: 110箇所	③ AV	見込 70	計: 132箇所	④ AV	見込 70	計: 154箇所	⑤ AV	見込 70	計: 17箇所			
使用箇所	2階 住戸			3~7階 住戸			2~7階 住戸			2~7階 住戸			2~7階 住戸					
型 式	引違い窓			引違い窓			引違い窓			内開し窓			引違い窓					
材 質	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ			アルミ					
仕 上	透明 厚3			透明 厚3			網入り型板 厚6.8			網入り型板 厚6.8			網入り型板 厚6.8					
備 考	付属金物一式、			付属金物一式、			付属金物一式、			付属金物一式、			付属金物一式、					
姿 図																		

符 号	③ AV	見込 70	計: 23箇所	④ AV	見込 70	計: 4箇所	② AV	見込 100	計: 2箇所	⑤ AV	見込 100	計: 1箇所			
使用箇所	2~7階 階段室			PH階 階段室			PH階 旧脱却室、塔屋 EV機械室			塔屋 EV機械室					
型 式	片開きフラッシュ戸			片開き戸			引違い窓			固定ガラリ					
材 質	アルミ			アルミ			スチール			スチール					
仕 上	網入り 厚6.8			網入り 厚6.8			OP			OP					
備 考	付属金物一式、			付属金物一式、			付属金物一式、			付属金物一式、					
姿 図															

符 号	② AV	見込 100	計: 4箇所	③ AV	見込 100	計: 4箇所	④ AV	見込 100	計: 4箇所	⑤ AV	見込 100	計: 24箇所	⑥ AV	見込 100	計: 2箇所	⑦ AV	見込 100	計: 1箇所			
使用箇所	2~7階 住戸			2階 住戸 (MB)			3~7階 住戸 (MB)			2~7階 階段室			PH階 旧脱却室、塔屋 EV機械室			PH階 旧脱却室 (煙突部)					
型 式	片開き戸			片開き戸			片開き戸			片開きフラッシュ戸			PH階 旧脱却室、塔屋 EV機械室			PH階 旧脱却室 (煙突部)					
材 質	スチール			スチール			スチール			スチール			スチール			スチール					
仕 上	OP			OP			OP			OP			OP			OP					
備 考	付属金物一式、アームストッパー、生乳受器			付属金物一式、			付属金物一式、			付属金物一式、自動閉鎖装置付			付属金物一式、			付属金物一式、差し出し					
姿 図																					

共通事項

建具表 S=1/50

(A1: 1/50 A3: 1/100)

工 名	川口団地耐震改修工事実施設計業務		
図 名	建具表 (3) 2~7-R・PH階建具表	【現況】	図 号
縮 尺	A1: 1/50 A3: 1/100		A51
日 付	平成27年3月		
株式会社 コア設計事務所		一級建築士事務所 長岡豊年事務所15003号 一級建築士登録第1402号 高比良 秀博	

符 号	① W/D	見込 ー	計：22箇所	② W/D	見込 ー	計：22箇所	③ W/D	見込 ー	計：22箇所	④ W/D	見込 ー	計：22箇所	⑤ W/D	見込 ー	計：22箇所	⑥ W/D	見込 ー	計：22箇所				
	使用箇所	2階 住戸			2階 住戸			2階 住戸			2階 住戸			2階 住戸			2階 住戸					
型 式	引違い 障子			引違い戸 3枚建て 新鳥の子 襖			引違い戸、片引き戸 新鳥の子 襖、T2ベニヤフラッシュ戸			片引き戸 戸襖、T2ベニヤフラッシュ戸			引違い戸 新鳥の子 襖			片引き戸 T2ベニヤフラッシュ戸						
材 質	米松			新鳥の子 襖			新鳥の子 襖、T2ベニヤフラッシュ戸			戸襖、T2ベニヤフラッシュ戸			新鳥の子 襖			T2ベニヤフラッシュ戸						
仕 上	O P			O P			O P			O P			O P			O P						
子 子	透明 厚3			透明 厚3			透明 厚3			透明 厚3			透明 厚3			透明 厚3						
金 具	引手			引手			引手			引手			引手			引手						
備 考	8箇所 一掃除去、異動付			14ヶ所 撤去部分			8箇所 撤去部分 6ヶ所 一部 撤去部分 (ハッチ部分)			8箇所 一掃除去			8箇所 一掃除去			8箇所 一掃除去						
姿 図																						
	1,200 1,200 2,400			1,000 2,550			1,000 855 1,650			1,000 1,260			1,000 455 1,660			1,000 900						
符 号	⑦ W/D	見込 ー	計：22箇所	⑧ W/D	見込 ー	計：22箇所	⑨ W/D	見込 ー	計：110箇所	⑩ W/D	⑪ W/D	見込 ー	計：110箇所	⑫ W/D	見込 ー	計：110箇所	⑬ W/D	見込 ー	計：110箇所	⑭ W/D	見込 ー	計：110箇所
	使用箇所	2階 住戸			PH階 階段室			3～7階 住戸			3～7階 住戸			3～7階 住戸			3～7階 住戸			3～7階 住戸		
型 式	片開き戸			片開き戸			引違い戸			引違い戸、片引き戸			片開き戸、引違い戸			片開き戸、引違い戸			片開き戸			
材 質	T2ベニヤフラッシュ戸			T2ベニヤフラッシュ戸			新鳥の子 襖			新鳥の子 襖			新鳥の子 襖			新鳥の子 襖			アルミ			
仕 上	O P			O P			O P			O P			O P			O P			O P			
子 子	型紙ガラス 厚2			型紙ガラス 厚2			型紙ガラス 厚2			型紙ガラス 厚2			型紙ガラス 厚2			型紙ガラス 厚2			型紙ガラス 厚2			
金 具	浴室用の錠、スリット番 3枚吊、付属金物一式			便所表承錠、T番 3枚吊、付属金物一式			引手			引手			引手、取手、ローキヤッチ			引手、取手、ローキヤッチ			浴室用の錠、スリット番、付属金物一式			
備 考	アタッチメント別付			アタッチメント別付			アタッチメント別付			アタッチメント別付			アタッチメント別付			アタッチメント別付			アタッチメント別付			
姿 図																						
	1,000 740			1,000 550			1,000 1,710			1,000 1,535 115			1,000 1,710			1,000 115 735			1,000 700			
符 号	⑮ W/D	見込 ー	計：110箇所	⑯ W/D	見込 ー	計：3箇所																
	使用箇所	3～7階 住戸			1階 便所																	
型 式	片開き戸			片開き戸																		
材 質	T2ベニヤフラッシュ戸			T2ベニヤフラッシュ戸																		
仕 上	O P			O P																		
子 子	型紙ガラス 厚2			型紙ガラス 厚2																		
金 具	便所表承錠、T番 3枚吊、付属金物一式			便所表承錠、付属金物一式																		
備 考	アタッチメント別付			アタッチメント別付 (戸当付金)、障子掛け																		
姿 図																						
	1,000 740			1,000 740																		

共通事項

建具表 S=1/50

(A1: 1/50 A3: 1/100)

工 名	川口団地耐震改修工事実施設計業務		
図 名	建具表 (4) 1～7階内部建具表 【現況】	期 日	図 号
縮 尺	A1: 1/50 A3: 1/100		A52
日 付	平成27年3月		
株式会社 コア設計事務所		一級建築士事務所 長岡真由美建築設計事務所 一級建築士 長岡真由美 1402号 高比良 秀博	

構造特記仕様書 (1)

1. 使用材料

- (1) コンクリート
- 普通コンクリート (膨張コンクリート)
- 設計基準強度 $F_c = 24 \text{ N/mm}^2$ $F_c = 30 \text{ N/mm}^2$ スラブ 2.1 cm
- 誤管理強度 = 設計基準強度 (F_c) + 構造強度補正値 (S) とする。
- 構造強度補正値 (S) は標準仕様書 (表 6.4.1) による。すなわち、
- ※ 3 N/mm^2 (量中におけるコンクリート)
- 量中におけるコンクリートの構造強度補正値 (S)
- ※ 3 N/mm^2 (上記の構造強度補正値を含まない。)
- その他、コンクリートに関する規定は JASS5 に準ずるものとする。

- (2) モルタル
- セメント系無収縮モルタル (プレミックスタイプ)
- 設計基準強度 $F_m = 30 \text{ N/mm}^2$
- 鉄筋
- JIS G 3112 SD295A D16以下 (M' 付縮む)
- JIS G 3112 SD345 D19以上 (接着系アンカー (付付))
- JIS G 3112 SR235

- (3) あと施工アンカー
- 接着系あと施工アンカー
- D13 ○ D16 ● D19 ● D22
- 有効埋め込み長さ ● 7 d a ● 10 d a ○ 12 d a

下記メーカーもしくは同等品以上とする。

(樹脂アンカーは使用実績が多く、信頼性の高いものを使用する)

・ 日本ヒルティ株式会社 ・ 旭化成工業株式会社 ・ 日本ダコラス株式会社 ・ 前田工業株式会社

・ フィッシャー ・ メーカーにより裏面材強度が保証されたもの。

アンカーの接着材の品質は以下による。

有機系 圧縮強さ 98 N/mm^2 以上、引張強さ 19 N/mm^2 以上、引け強さ 29 N/mm^2 以上、

圧縮弾性係数 $3.8 \times 10^4 \text{ N/mm}^2$ 以上、耐アルカリ性 質量変化率 10%以内

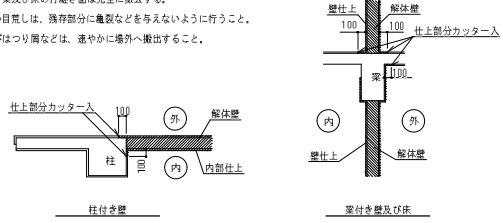
- (4) 鋼材
- JIS S 3101 S3400 ・ JIS S 3136 S4008 ● 高力ボルト (R18 F10T)
- (5) スタッドボルト
- JIS B 1198 16φ
- (6) その他
- 耐腐蝕に使用される材料で上記に記載されていないものは、特別な調査研究に基づき必ず使用してもよい。

2. 材料試験

- (1) 下記の材料は、公共建築工事標準仕様書にない材料試験を行う。但しセメント及びコンクリート以外は、監査の承認を受けた場合に限りメーカーが品質を保証する検査証明書 (ミルシート) を提出してこれを省略することができる。
- セメント ●コンクリート ●鉄筋 ●あと施工アンカー ●鋼材 ●スタッドボルト ●高力ボルト

3. 解体・はつり

- (1) 騒音、粉塵、落下物危険防止等十分考慮して施工すること。尚、工法については監査員と協議して決定すること。
- (2) 解体部分は、清掃を行うこと。
- (3) 既存躯体の豆板部分は補修を行うこと。(甚だしい箇所ははつり取る。)
- (4) モルタル部分のつりには 10 kg 以下のプレーカーを使用すること。
- (5) 新設壁のじょうご解体については内外共全量で解体すること。
- (6) 既存の柱、梁及び床の打越ぎ面は完全に撤去する。
- (7) 打越ぎ面の目直しは、残存部分に亀裂などを生えないよう行うこと。
- (8) 撤去及びはつり屑などは、速やかに場外へ搬出すること。



- (9) はつり部分の内外仕上げは耐腐蝕補修施工後意匠図に、習い復旧する。
- (10) 既存鉄筋は、原則としてはつり面で切断除去すること。(開口取除の場合を除く)
- (11) はつり面は、水洗いはつり粉末を完全に除去すること。

4. 鉄骨工事

- (1) 鉄骨製作工場 社団法人全国鉄工業会 鋼構造物製作工務認定Mグレード以上で監査員の承認を受けた製作所とする。
- (2) 加工図 鉄骨工作原図に先立ち鉄骨加工図を作成し監査員の承認を受けること。
- (3) 錆止め塗料 建築特記仕様書によること。(コンクリート、モルタル、グラウト、コーキング等に接する部分に塗布しないこと。)
- (4) 溶接検査 検査は、第三者の検査会社が行うものとし、検査会社との契約は本工事請負業者が行うこと。検査内容は、公共建築工事標準仕様書による。鉄骨工事は、十分な工事計画のもとに行うこと。鋼材の材料加工に先立ち駆寸法を測定し、部材を実状に合った寸法とすること。
- (5) 加工

5. 型枠工事

- (1) グラウト用型枠工事について監査員を作成し監査員の承認を受けること。
- (2) 型枠は、グラウトモルタルの注入または圧入の圧力に対して十分に抵抗できる剛性をもち、かつグラウトモルタルの膨張圧を適切に拘束できるものとする。
- (3) 型枠の組立は、コンクリート側圧、打設方法、セパレーターの取付け方法などを考慮して施工すること。
- (4) 型枠の組立は、打上りコンクリート部材の位置及び断面寸法の精度が十分保たれるよう、特に注意して行うこと。
- (5) 型枠は、できるだけ形型振動機が使用しやすいように組立すること。
- (6) 基礎の観目及び釘穴等は、布テープにより目隠しを行うこと。
- (7) 既設コンクリート取り切り部の基礎部はバックキック材により漏水を防止すること。
- (8) 型枠の底部その他必要な箇所にはコンクリート打込み前の清掃や検査のため、一時的な開口を設ける。
- (9) 清掃や検査のための一時的な開口部は、コンクリート打込み時には完全に塞ぐこと。
- (10) 型枠の取りはずしは、グラウトモルタルが十分に硬化し、かつ型枠による膨張圧の拘束が不要にならないから行うこと。

6. モルタルの調合及び練り混ぜ

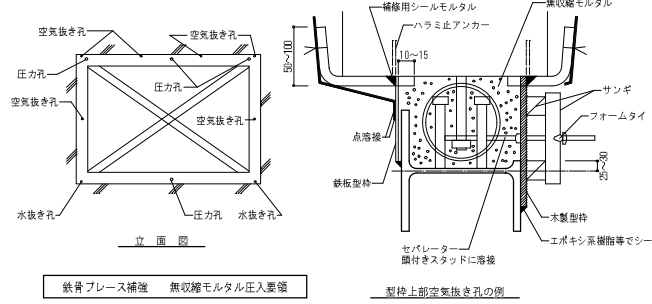
- (1) 注入モルタルは、空隙を密実に充填できることが必要で、以下に示す性質を持つものを使用すること。
- ① 既存コンクリート面及び鉄骨面との付着が良好であること。
 - ② 多少膨張性のあることが好ましいが硬化後は体積変化を生じないこと。
 - ③ プリージング現象や砂の分離が少ないこと。
 - ④ 流動性が良好で施工性が良いこと。
 - ⑤ グラウトモルタルの圧縮強度は補修部材コンクリートの設計強度を下まわらないこと。
 - ⑥ コンシステンシーは、注入箇所及び注入法に応じたものである。

7. 充填モルタルの混練と試験

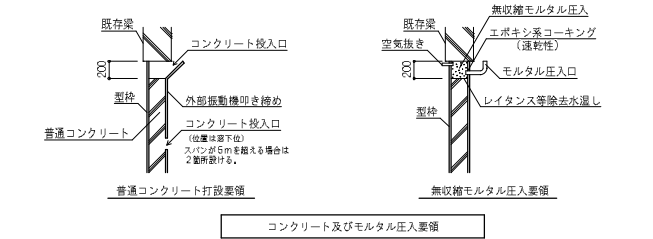
- (1) 充填モルタルの混練 充填モルタルの充填前に試験練りを行い、1袋当りの水量を決定する。
- 水量 : 4.38~4.75 kg/袋
- 水 結合率比 : 35~38%
- パンミキサー及び高速ミキサーで混練する。
- (2) 充填モルタルの試験 流動性 J14ロードで試験を行う。
- コンシステンシーの範囲は 8±2秒とする。
- 圧縮強度 テストピースによる圧縮試験を行う。
- 養生 : 射から養生 材料 : 3日、7日及び28日 圧縮強度 : 30N/mm²以上

8. 注入または圧入工事

- (1) モルタルの注入は空隙を密実に充填できるように注入計画を提出し、監査員と充分打合せの上決定すること。
- (2) 気道が 5°C 以下、または 30°C 以上の場合は充填は原則として行わないこと。
- (3) 注入または圧入に先立ち、既設コンクリート表面及び吸水性の層板表面は、十分に吸水した状態とすること。
- (4) 注入または圧入は適切な圧力で中断しないよう行うこと。
- (5) 空気抜きを設け、グラウトモルタルが全ての空気抜きよりオーバーフローした時点で圧力を中止し、空気抜きを封鎖したうえで再び圧入を行うこと。
- (6) グラウト硬化中には有害な振動を与えないようし、グラウト圧入、空気抜きが円滑にないように管理すること。
- (7) これらグラウトは速やかに処理すること。

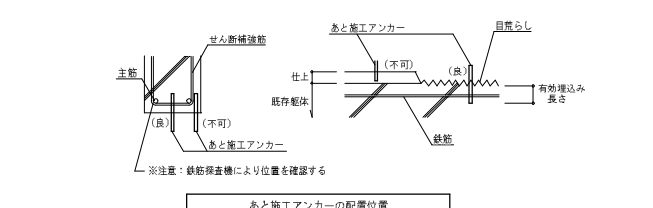
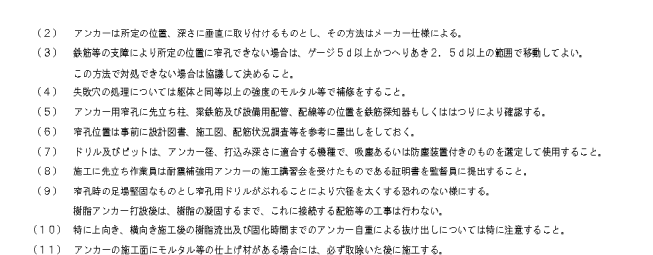


鉄骨ブレース補強 無収縮モルタル圧入要領



9. アンカー工事

- (1) あと施工アンカーのピッチは、7.5以上30.0mm以下とする。
- (2) アンカーは所定の位置、深さに着目し取り付けるものとし、その方法はメーカー仕様による。
- (3) 鉄筋等の突端により所定の位置に穿孔できない場合は、ゲージ5d以上かつヘリあき2.5d以上の範囲で移動してもよい。この方法で見えない場合は協議して決めること。
- (4) 失敗時の処理については躯体と同等以上の強度のモルタル等で補修をすること。
- (5) アンカー用穿孔に先立ち柱、梁鉄筋及び設備用配管、配線等の位置を鉄筋探知器もしくはほかにより確認すること。
- (6) 穿孔位置は事前に設計図書、施工図、配筋状況調査等を参考に算出しておく。
- (7) ドリル及びビットは、アンカー径、打込み深さに適合する機種で、吸塵あるいは防塵装置付きのものを選定して使用すること。
- (8) 施工し先立ち作業員は耐腐蝕用アンカーの施工講習会を受けたものである証明書を監査員に提出すること。
- (9) 穿孔時の足場確保などの穿孔用ドリルがぶれることにより穴径を大きくする恐れのない様にする。
- 樹脂アンカー打設後は、樹脂の凝固するまで、これに接続する配管等の工事は行わない。
- (10) 特に上向き、横向き施工後の樹脂流出及び固化時間までのアンカー目による抜け出しについては特に注意すること。
- (11) アンカーの施工にモルタル等の仕上り材がある場合には、必ず取除いた後に施工する。



10. コンクリート打設

- (1) 打設計画は、建物内でのコンクリートの運搬方法、各打込み箇所での打込み、締固めに要する時間、1日の打込み可能量、練り締め開始から打込み完了までの時間の限度などを考慮して工程に無理が生じないように定める。
- (2) コンクリートの運搬方法、突き固め方法はジャンクが発生しないよう打設計画書を提出し監査員と十分打合せの上決定すること。
- (3) 打込み前には、縦板、既設コンクリート表面など打込まれるコンクリートに接する面は十分水濡しを行い乾かさないようにする。
- (4) 打込みの際は、バイブレーターを使用して入念に締固める。
- (5) 打込み後、レイタンスの溜まった箇所はコンクリートの水引き員を見計らって除去する。
- (6) コンクリート打込み時には、下層に監視員を配置し漏水について点検するほか打設も定期的に巡回点検を行う。
- (7) コンクリートの乾燥水で濡したものは、スポンジ等で丁寧に拭き取る。
- (8) 打込みの際は、振動機を用いるほか、木槌で型枠の外側を軽く叩くことで密実に締固める。
- (9) 膨張性遅取材を用いる場合は、コンクリートを7日間以上湿潤状態に保つこととする。(湿り量 3 N/m^3)
- (10) コンクリート打込み後はコンクリート中の水分が乾燥しないよう、必要に応じて型枠面に散水したり、覆いをかける等の措置を講ずること。
- (11) 単位セメント量は 29 N/m^3 以上とする。

エネ	川口団地耐震改修工事実施設計業務	期前	期当	期後
図名	構造特記仕様書 (1)			
縮尺	1/50			
日付	平成27年3月			
株式会社 コア設計事務所		一級建築士事務所 長崎県知事登録第12503号 一級建築士登録第11422号 高比良 亮博		

構造特記仕様書 (2)

11. その他

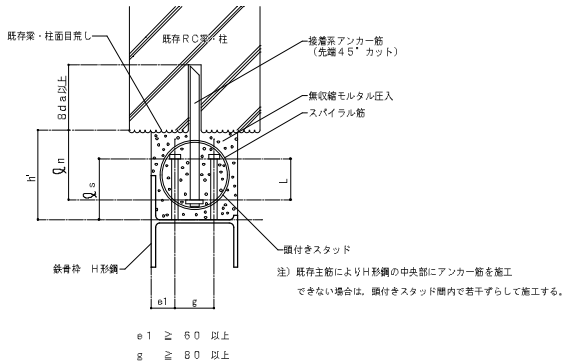
- グラウト注入部の割断防止筋はスパイラル筋とする。
- 耐震壁(鉄骨ブレース)作成は、施工業者決定と同時に発注する為、寸法については図面に頼らず充分現場を調査し決定すること。

鉄筋記号

記号	○	⊗	⊘	●	○	⊗
丸筋	φ ⁹	1φ ⁹	1φ ⁶	1φ ⁶	2φ ⁶	2φ ⁵
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25

各部詳細及び要領図

頭付スタッド取合

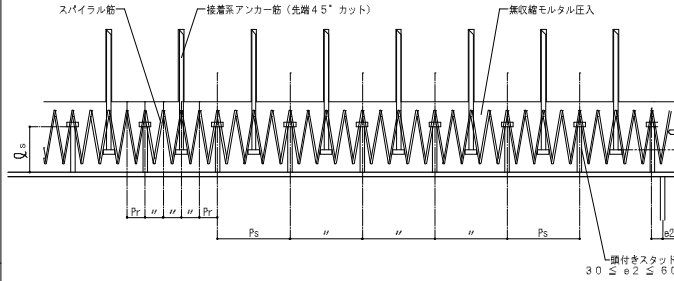


単位 (mm)

H形鋼	スパイラル径	ピッチ (Pr)
175	115	50かつ スタッドピッチの1/4以内
200	140	
250	190	

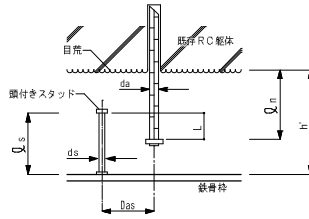
※ スパイラル筋 6φ

スパイラル筋・頭付スタッド・接合系アンカー筋関係図



注) スパイラル筋の重ね継手長さは、2ピッチ以上とする。

注) 鋼材を所定の位置に固定する場合は耐震補強用アンカー筋とは別に@1000間隔でアンカー筋 (D16程度) をとり頭付スタッドと溶接する。



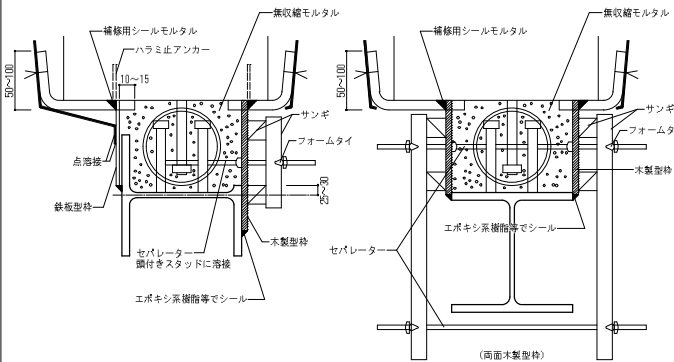
d_s : 頭付スタッドの直径
d_a : 接合系アンカー筋の直径
h' : 圧入モルタルのせい

標準例

単位 (mm)

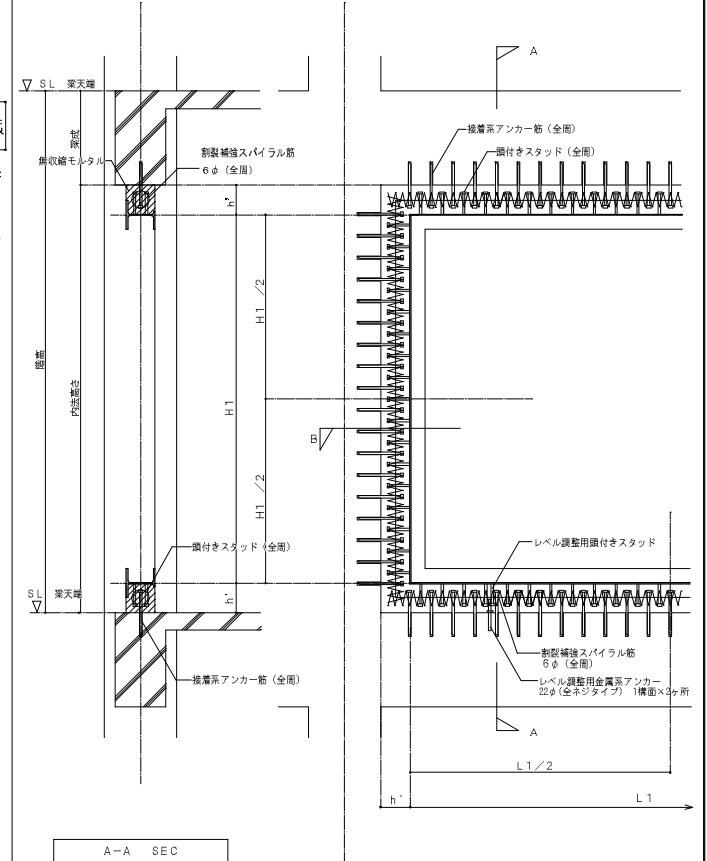
クリアランス h'	接合系アンカー筋 <必要 Q_n> Q_n	頭付スタッド <必要 Q_s> Q_s「呼びがさ」	ラップ L
160	D16又は16φ<96> 110	16φダブル<96> 110 「120」	60
200	D19又は19φ<114> D22又は22φ<132> 140	16φダブル<96> 19φダブル<114> 19φシングル<114> 140 「150」	80
250	D19又は19φ<114> D22又は22φ<132> 190	19φダブル<114> 19φシングル<114> 190 「200」	130

型枠上部の空気抜き孔の図



(両面木製型枠)

立面図・断面図



A-A SEC

B-B SEC

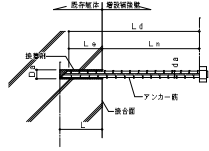
工号	川口団地耐震改修工事実施設計業務	期数	第5	図印No.	
図名	構造特記仕様書 (2)	期日		図印No.	S02
縮尺	1/10	作成	2022年3月		
設計	平野 隆	校核	平野 隆		
確認	平野 隆	承認	平野 隆		

構造特記仕様書 (3)

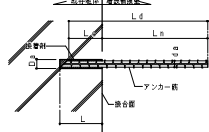
あと施工アンカー

(1) 接着系アンカー

(ナット付)



(ナットなし)



- L : コンクリートの穿孔深さ、または接着系アンカーの埋め込み長さ (8d)
- Le : アンカーの有効埋め込み長さ
- Ld : アンカー径の全長
- Ln : 有効定着長さ
- D a : 既存コンクリート躯体への穿孔径
- d a : アンカー軸部の直径、アンカー径の呼び名

アンカー関係共通事項

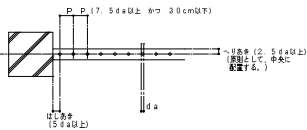
接着系アンカーの有効埋め込み長さ	一般部 : $L_e = 7 d a$ 開口補強筋 : $L_e = 1.0 d a$
接着系アンカーの有効定着長さ	一般部 : $L_n = 2.0 d a$ 開口補強筋 : $L_n = L_1 + 5 d a$ (=補強筋との継手長さ+クリアランス)
アンカー径形状	ナット付き異形棒鋼(開口補強筋用はナットなし)とし、ナットからねじ山が2山以上であること。 また、先端形状は45°カットとする。

施工確認試験荷重

下記荷重の2/3程度の荷重を確認荷重とする。

アンカー径呼び名 (da)	引張耐力 (kN/本)	確認耐力 (kN/本)
Ø13	18.9	12.6
Ø19	40.5	27.0
Ø22	54.3	36.2

(2) あと施工アンカーの位置と間隔



割裂補強筋配筋要領

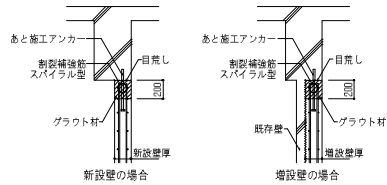
1. 割裂補強筋は、改修壁の柱・梁に接する面全てに配置する。
2. 割裂補強筋は、Ø10スパイラル型とし、ピッチ、スパイラル径は下記による。
3. 継手は、2巻以上の重ねとする。

壁厚	スパイラル径	割裂補強筋	備考
150	Ø9φ	6φ@50	
180	120φ	6φ@50	
200	140φ	D10@50	
250	190φ	D10@50	
300	240φ	D10@50	



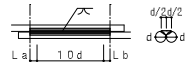
新設・増設壁上部グラウト要領

1. 特記なき新設・増設壁上部は、グラウトを行う。

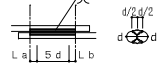


鉄筋フレア溶接要領

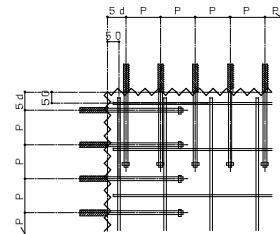
○ 片面フレア溶接



● 両面フレア溶接



アンカー筋ピッチ標準



P : 間隔は図面参照

工名	川口団地耐震改修工事実施設計業務		
図名	構造特記仕様書 (3)	頁数	図印No.
縮尺	1/50		S03
日付	平成27年3月		
株式会社	ア設計事務所	一級建築士事務所 長崎県知事登録第15902号	一級建築士登録第11422号 高比良 亮輔

鉄骨構造標準図

1. 一般事項

(1) 材料及び検査
 (a) 構造設計仕様による。
 (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが4.0mm以下のものとする。
 (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する。

(2) 工作一般
 (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事重要図書」を提出し工事監理者の承認を得るものとする。
 (b) 鋼骨部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼骨自動切断機による。
 (c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする。

(3) 高力ボルト接合
 (a) 本図に使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。

(4) 溶接接合
 (a) 溶接技能者
 溶接技能者は施工する溶接に適合するJIS Z 3001(手溶接)又はJIS Z 3841(半自動溶接)の溶接技能検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする。
 (b) 溶接機種
 (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 (ロ) アークエアークラウジング機(電流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 (ハ) サーマージアーク溶接機1式 (ヘ) 溶接機乾燥機
 (c) 溶接方法
 アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
 セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアークラウジング (AAG)
 (d) 溶接姿勢
 図1 溶接姿勢
 立向 V 横向 H 上向 O 下向 F

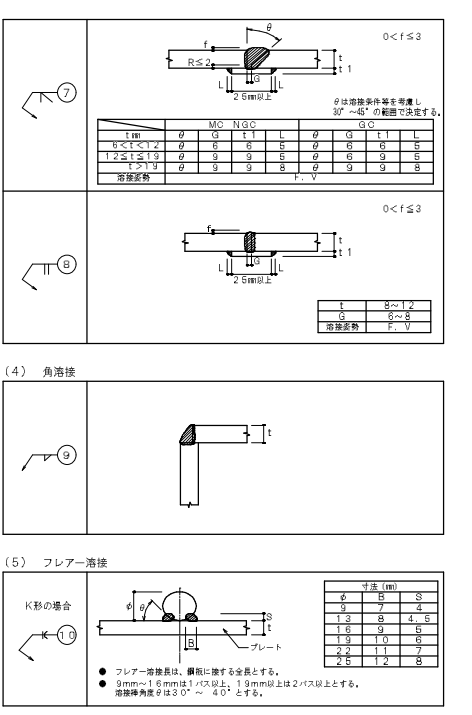
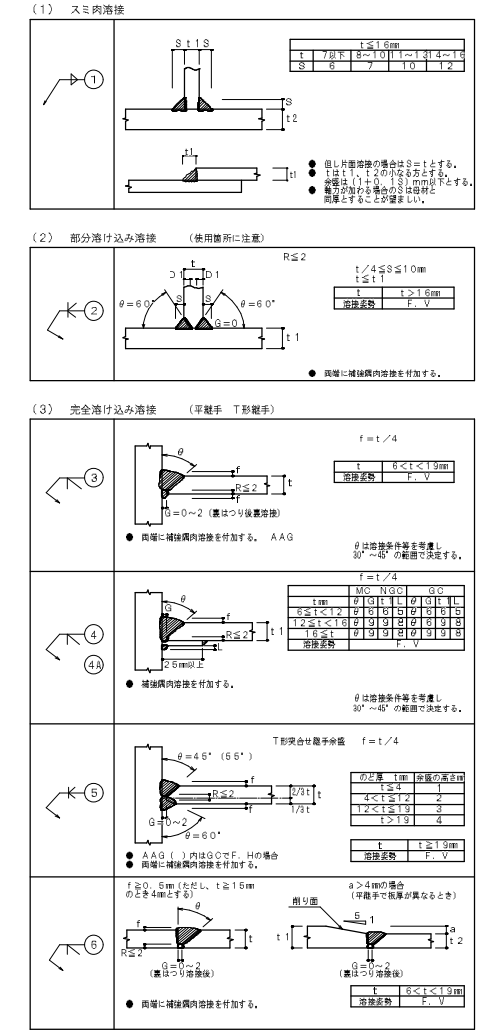
(e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う。
 (イ) 取付位置
 組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける。
 図2 取付位置

(f) 溶接施工
 (イ) エンドタブ
 I 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同度で同開先形状のエンドタブを取り付ける。
 II エンドタブの材質は、母材と同質とする。
 III エンドタブの長さは、MC:3.5mm以上、NGC、GC:4.0mm以上とし、終端のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度強引切断して、グラインダー仕上げとする。
 IV プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得るものとする。
 (ロ) 裏あて金
 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする。
 (ハ) スカラップ
 半径は3.0~3.5mmと、1.0mmのダブルアールとする。
 図3 スカラップ
 ① 図3 裏あて金
 ② ノンスカラップ工法
 ③ 裏あて金
 G: ルート間隔 R: 開孔半径
 *上記(ハ)、(ニ)いずれの工法を採用するかは工事監理者との協議により決定すること、スカラップ加工の場合、部材断面はH250以上が望ましい。

(ホ) 裏はつり
 基準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を履行し、部材に確認マークをつける。
 (ハ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う。

(5) 塗装
 コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

2. 溶接標準図 (注) f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:腰長 (単位:mm)



※注
 (4A) の場合はスミ肉溶接より部位で溶接作業姿勢等の考慮から突合せ溶接形状が適切と判断された場合である。
 この場合はスミ肉溶接性能同等でよいことから超音波探傷試験は省略することができる。

各補強部材を取付ける場合で設計上特に配慮する必要がある事項

(1) 手溶接と半自動溶接の使い分けについて。
 最近では半自動溶接であっても薄板の溶接が技術的に可能となっており、作業性からも半自動溶接が望ましい。
 しかし、半自動溶接に必要な電流量を持つ発電機の搬入経路等の事前調査が必要となる。

(2) 高力ボルトの選定を適切に行うこと。
 普通高力ボルト 例 F10T
 特殊高力ボルト 例 S10T
 上記2種類の使分け方を明示する。

(3) 突合せ溶接を行なう場合はガウジング作業が伴う方法より裏当金を取付ける方法が望ましい。

(4) 既存アングルの羽先に新設プレートの突合せ溶接を行う場合は既存アングルの羽先に等り等がないことを確認する必要がある。

(5) 図のような溶接を行なう場合は図示寸法に特に注意を要する。
 図示寸法: 新設プレート * 最少寸法 20mm

(6) 補強部材の最大重量は7.00kN位とする。

(7) 溶接部の直近に木製筋線等がある場合はその養生方法を明示する。

鉄骨 プレース 接着工法特記仕様書

1. 一般事項

(1) 適用範囲

・(財)日本建築防災協会 技術評価書 建築防災第12100号に基づく「鉄骨プレース 接着工法設計施工指針」による。

(2) 施工計画

・工事の着工に先立ち、下記の事項について充分検討し施工計画を作成して、監督職員に提出する。

工程計画
資材・機材の搬入および保管
鉄骨の製作取付
現場養生
関連する別契約の工事との取り合い納まり等
仮設計画

(3) 施工管理体制

・本工事の接着工法の施工は、設計・施工指針 7章 7.1に記載された専門工事会社とし、脚竹中工務店及び専門工事会社よりなる惟准会に於いて、施工資格認定講習を受講ならびに認定を受けた技術者を専任し配置して行うものとする。

2. 材料仕様

(1) 鋼材

・本工法で用いる鋼材は、特別の場合を除き、下記の10種類とする。

一般構造用圧延鋼材 SS400級
溶接構造用圧延鋼材 SM400級、SM490級
建築構造用圧延鋼材 SM400級、SM490級
一般構造用軽量形鋼 SSG400級
一般構造用炭素鋼管 STK400級
建築構造用炭素鋼管 STKN400級
建築構造用低炭素鋼 LY100級、LY225級

(2) 注入接着用エポキシ樹脂

・注入接着用エポキシ樹脂は、本工法設計施工指針に記載された製品、かつ製造ロット毎に下記の品質規格を満足することが確認された製品を使用する。

・製造日から半年以内のものを使用する。

・製造ロット毎の材料試験成績書を提出する。

注入接着用エポキシ樹脂の品質規格

項目	単位	試験方法	規格値
圧縮降伏強度	N/mm ²	JIS K 7208	60 以上
引 張 強 度	N/mm ²	JIS K 7113	20 以上
引張せん断接着強度	N/mm ²	JIS K 6850	10 以上

グラウト T・K-II (ショーボンド化学㈱) 同等以上

(3) シール用樹脂

・シール用樹脂は、本工法設計施工指針に記載された製品、かつ製造ロット毎に下記の品質規格を満足することが確認された製品を使用する。

・シール用樹脂のバテ状エポキシ樹脂は、コンクリートと鉄骨枠の接着性を充分確保できるもので、間隙充填時に垂れ下がりのないものとする。

・製造日から半年以内のものを使用する。

・製造ロット毎の材料試験成績書を提出する。

バテ状エポキシ樹脂の品質規格

項目	単位	試験方法	規格値
圧縮降伏強度	N/mm ²	JIS K 7208	60 以上
引 張 強 度	N/mm ²	JIS K 7113	20 以上
引張せん断接着強度	N/mm ²	JIS K 685C	10 以上

#101 (ショーボンド化学㈱) 同等以上

(4) 防錆塗料

・鉄骨接着接合面の防錆塗料
防錆塗料の種類は、下記を標準とし、接着性能が確認されている塗料を使用する。

JIS K 5633 (長期暴露形エッチングプライマー-2種)
接着性能: JIS K 6850 (接着剤の引張せん断接着強度試験方法) による引張せん断接着強度が10N/mm²以上で、材令によつて低下しないこと。

指定材料: メタラクトH15 (関西ペイント㈱)
又は、注入接着用エポキシ樹脂との適合性が確認されたものによる。

・鉄骨接着接合面以外の防錆塗料
 屋外仕様 仕様は建築仕様書による。
常温亜鉛メッキ (上塗り対応) 工法 (建設施工技術・技術審査証明を受けたもの)
 屋内仕様 仕様は建築仕様書による。
 JIS K 5621 (一般用及び止めペイント)
 JIS K 5674 (鉛・クロムフリー及び止めペイント)

(5) 既存躯体コンクリートの断面補修材

・既存躯体コンクリートの断面補修材 (ポリマーセメントモルタルまたはエポキシ樹脂モルタル) は、十分な接着強度と既存コンクリートと同等以上の圧縮強度を有する材料とする。
・断面補修材は製造ロット毎に下記の品質規格を満足することが確認された製品を使用する。

項目	単位	試験方法	規格値
圧縮強度	N/mm ²	JIS A 1108に準拠	F _{cd} 以上
		JIS A 1172 (JIS R 5201)	1.2F _{cd} 以上
コンクリートとの接着強さ	N/mm ²	JIS A 6203 又は JIS A 6909 に準拠 (建設式付着強さ試験)	0.38√F _{cd} 以上

リフレモルセットSP (グライボ-5(住友) 'A' 'A'-2工法) (住友大阪セメント㈱) 同等以上
エモコS99P-R (グライボ-7(住友) 'A' 'A'-2工法) (GASFポリシス㈱) 同等以上
又は、上記規格を満足し、かつ、1. (3)の専門工事会社が当該工法に使用を認めた材料による。

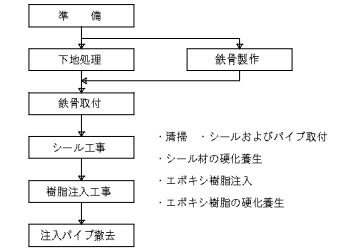
(6) その他の材料

・既存躯体コンクリートの部分的な断面欠損などの修復に使う修復材 (ポリマーセメントモルタルまたはエポキシ樹脂モルタル) は、十分な接着強度と既存コンクリートと同等以上の圧縮強度を有する材料を使用する。このときポリマーセメントモルタルで下地調整を行う部分の欠損補修にはエポキシ樹脂モルタルを使用してはならない。

・既存躯体コンクリートのひび割れ補修を行う場合のひび割れ注入材は、ひび割れの深部まで浸透し、コンクリートを一体化するために充分な接着強度を有し、ひび割れから供給される水を遮断する性能を持つ材料を使用する。

3. 施工

(1) 施工手順



- ・清掃 ・シールおよびパイプ取付
- ・シール材の硬化養生
- ・エポキシ樹脂注入
- ・エポキシ樹脂の硬化養生

(2) 準備

・既存コンクリートのひび割れ欠損・脆弱部、その他の損傷部を調査記録して報告書を作成する。
なお、既存部材に欠損が有り、補強が必要と思われる場合は、監督職員と協議する。
・既存躯体の寸法を記録し、鉄骨製作に反映させる。
・事前に、施工対象部の記録写真を撮影する。

(3) 下地処理

・表面仕上げ材を除去し、構造体コンクリートを露出する。
・ひび割れは、エポキシ樹脂などを注入して補修する。
・コンクリートの欠損部は、2 (5)のポリマーセメントモルタルなどで補修する。
・鉄筋が露出している場合は、鉄筋の錆を除去して防錆材を塗布した後に修復する。
・コンクリートの豆板や劣化部などは、健全な下地まではつり取り、2 (5)のポリマーセメントモルタルなどで補修する。
・コンクリート表面の突起や段差部などは、ディスクサンダーなどで除去し、平坦にする。
なお、必要に応じて、2 (5)のポリマーセメントモルタルなどで平坦に補修する。
・コンクリート表面の風化層、レイタンス、汚れ、油分、型枠剥離材などは、ディスクサンダーや高压洗浄などを用いて除去し、清浄な面にする。
表面研磨時に生じた埃などは、エアブロー、吸引機、ウェスなどで除去する。
・下地の状態や使用する断面補修材によって適宜水打ち、吸水調整材、プライマーを用いる。
・既存躯体は、鉄骨の取付に支障のないように不陸修正を2 (5)のポリマーセメントモルタルで行う。厚さは、原則として30mm以下とする。
・ドライアウト防止として、ポリマーセメントモルタルにて不陸修正直後に、養生シート (スリーエムジャパン コンクリート保水テープ2227HP) を用いて24時間以上養生を行う。
・躯体面や不陸修正材の表面の乾燥状態は8%以下を目安とし最大10%以下とする。

(4) 鉄骨製作

・既存躯体の調査寸法を考慮し、クリアランスが所定の寸法となるように鉄骨枠寸法を決定する。(6 標準詳細図参照)
・鉄骨枠の接着接合面は、プラスチック処理 (ISO 8a2 1/2 (SSPO-SP-10)) 以上とし、プラスチック後、錆を発生させないようにし、速やかに2 (4)に記載された防錆塗料を塗布する。

(5) 鉄骨取付

・取付に必要なレベル量および出入り量を出す。
・鉄骨枠部材は、チェーンブロックなどにより所定の位置に取付付ける。
・鉄骨プレースの面外方向に対する倒れ止めを適宜設置する。施工途中においても外力等で転倒の危険性が無いように処置を施す。

(6) シールおよび注入パイプの取付

・計量容器や混合用具類は、乾燥して清浄であること。
・バテ状エポキシ樹脂の一回の混合量は、シール長さ等を考慮して可使期間以内に使用できる量とする。
・可使期間を過ぎたバテ状エポキシ樹脂は、使用してはならない。
・既存コンクリートと鉄骨枠部材の間隙に、注入パイプの取付と、エポキシ樹脂の流出防止シールを行う。
・エポキシ樹脂の注入パイプと空気抜きパイプを、エアだまりの無い様に、シール材で取り付ける。
・施工は原則として、5°C以上の環境で行う。5°C以下で施工する場合は、適切な保温対策を行う。
・外壁に面する場所での補強は、雨天の場合施工を中止するか、雨水の掛からない対策を行う。
・硬化養生の時間は、施工後24時間以上を目途とし、指触確認を行う。

(7) 接着用エポキシ樹脂の注入

・計量容器や混合用具類は、乾燥して清浄であること。
・接着用エポキシ樹脂の一回の混合量は、注入作業等を考慮して可使期間以内に使用できる量とする。
・可使期間を過ぎた接着用エポキシ樹脂は、使用してはならない。
・混合したエポキシ樹脂を注入器に入れ、最下部の注入パイプから徐々に加圧しながら連続して注入する。

・エポキシ樹脂が隣接の空気穴から流出してきたら、当該の空気抜きパイプを密栓し引き続きエポキシ樹脂を注入する。

・1次注入は、柱と梁のコナー部分まで行う。
・2次注入は、梁中央部より行い、オーバーフロータンク (幅100m/m 高さ170m/m 厚さ15m/m) を済ませ作業を行う。
・オーバーフロータンクに樹脂を満たした状態で注入の完了とする。(オーバーフロータンクの代用として円筒状の物やビニルチューブ等を使用してはならない)
・木ハンマーなどで鉄骨枠を軽く打診して、エポキシ樹脂の未注入部がないことを確認する。
・施工は原則として、5°C以上の環境で行う。5°C以下で施工する場合は、適切な保温対策を行う。

・外壁に面する場所での注入は、雨天の場合、施工を中止するか、雨水の掛からない対策を行う。
・硬化養生時間は、施工後24時間以上とする。
(8) 注入パイプ撤去
・エポキシ樹脂の硬化後、鉄骨枠を打診して未注入部が無いことを確認して、パイプ等を除去する。
・壁や建具等取付のためファスナーをエポキシ樹脂注入後に接着部近傍の鉄骨に海接しないこととする。

4. 品質検査

(1) 使用する材料の品質検査は、製造所の試験成績書を提出する。
(2) 使用した材料の品質検査は、下記による。

材 料	主な検査方法	判 定	試験回数	
注入接着用樹脂	圧縮強度	JIS K 7208	注入接着用エポキシ樹脂の品質規格による	工事期間中 1回以上 かつ 製造ロット毎
ドライアウト防止シール	圧縮強度	JIS A 1172	JIS A 1108	躯体強度以上かつ製品規格値以上 工事期間中 1回以上

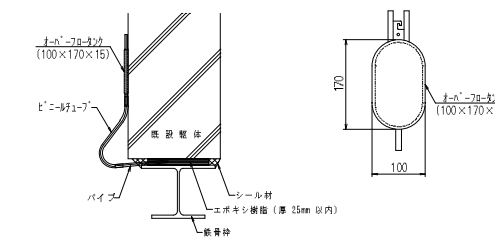
5. 施工記録

・下記の事項について施工記録を作成し、監督職員に提出する。

作業工程
施工方法
天候、気温
品質検査記録
工事記録写真

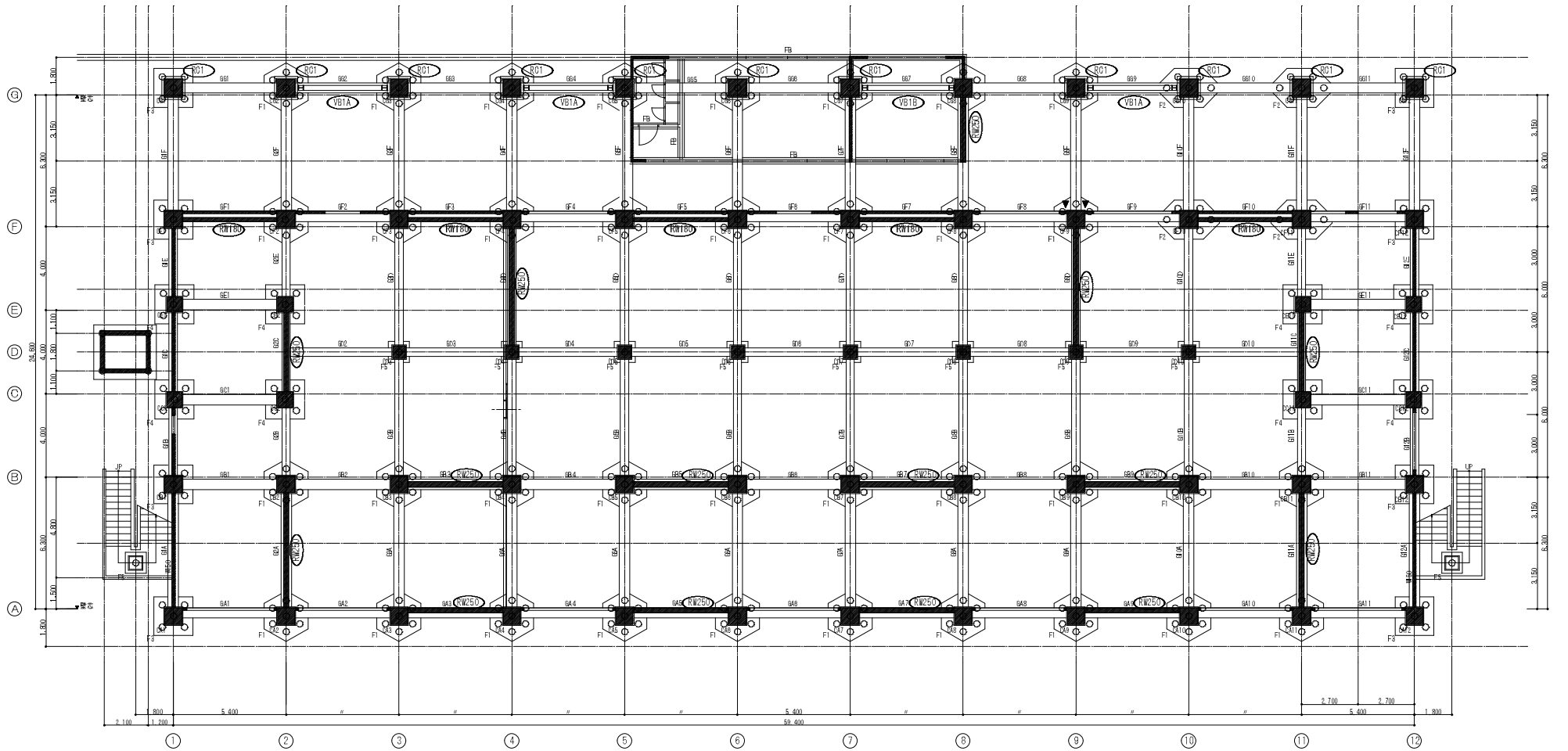
6. 標準詳細図

・接着接合部取付詳細図
<鉄骨枠材強軸方向>



採用項目に を記す

工事名	川口団地耐震改修工事実施設計業務		
図名	鉄骨プレース接着工法特記仕様書	原 則	訂 正
図 尺	1/100	図 号	S05
日 付	平成27年3月	設 計 者	
株式会社 コア設計事務所	一級建築士事務所 長崎県知事登録第15903号	図 録 者	一級建築士 尾崎誠一 14222号 高比良 亮輔

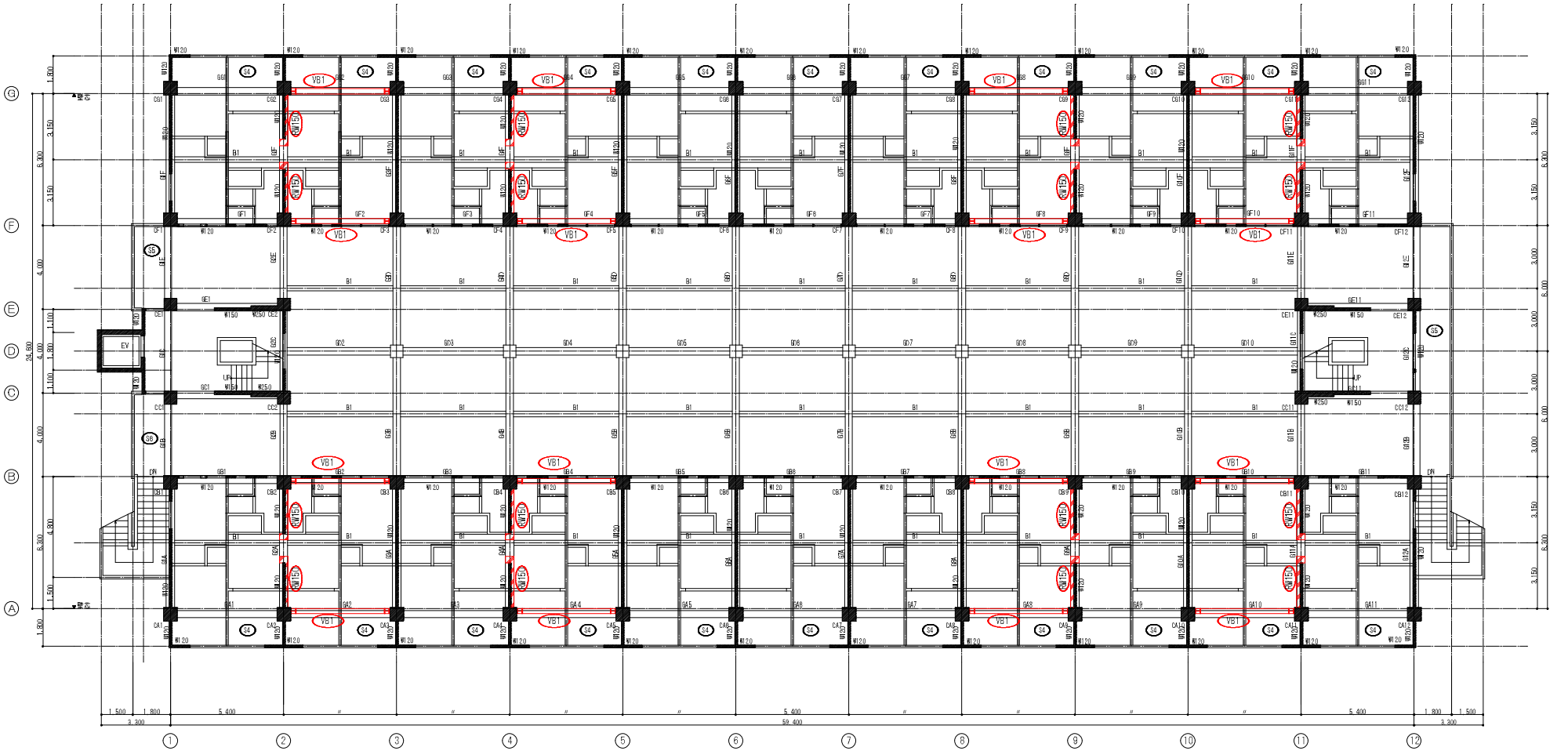


基礎伏図
(A1 1/100, A3 1/200)

- RW250 増設耐震壁
- RW180 増設耐震壁
- VBn 新設枠付鉄骨アレース
- RC1 コンクリート柱巻き補強
- ▼ 構造スリット

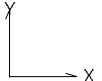
工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務 図名 基礎伏図【補強】 縮尺 A1 1/100 A3 1/200 日付 平成27年3月	原 図 訂 正 訂 正 訂 正	図 号 S06
--	--------------------------	------------

一般建築士事務所 長岡事務所 長岡事務所 長岡事務所
 株式会社 コア設計事務所 一般建築士事務所 高比良 秀博

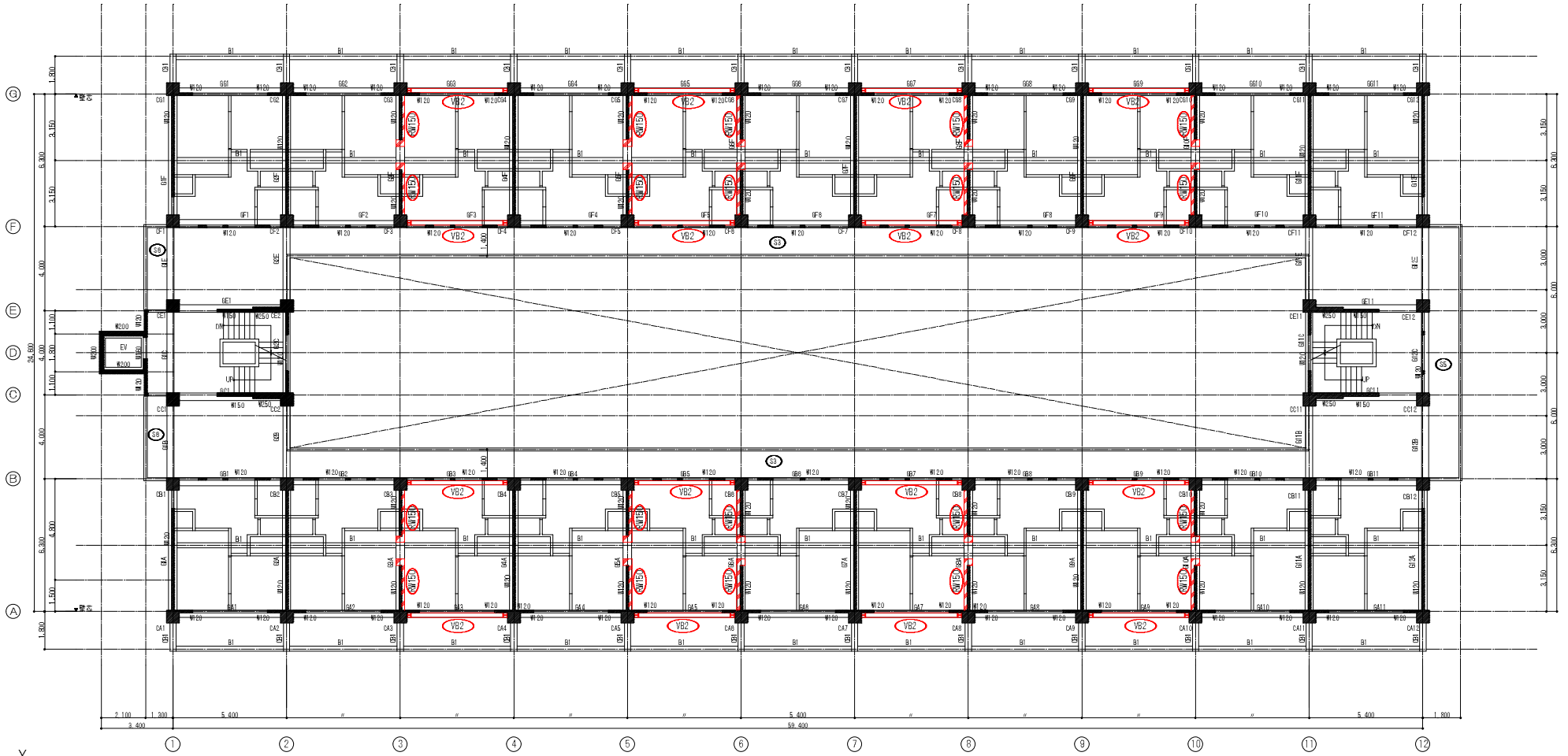


2階梁伏図
 (A1 1/100, A3 1/200)

- VB1 新設捻付鉄骨アレス
- RW150 増設耐震壁



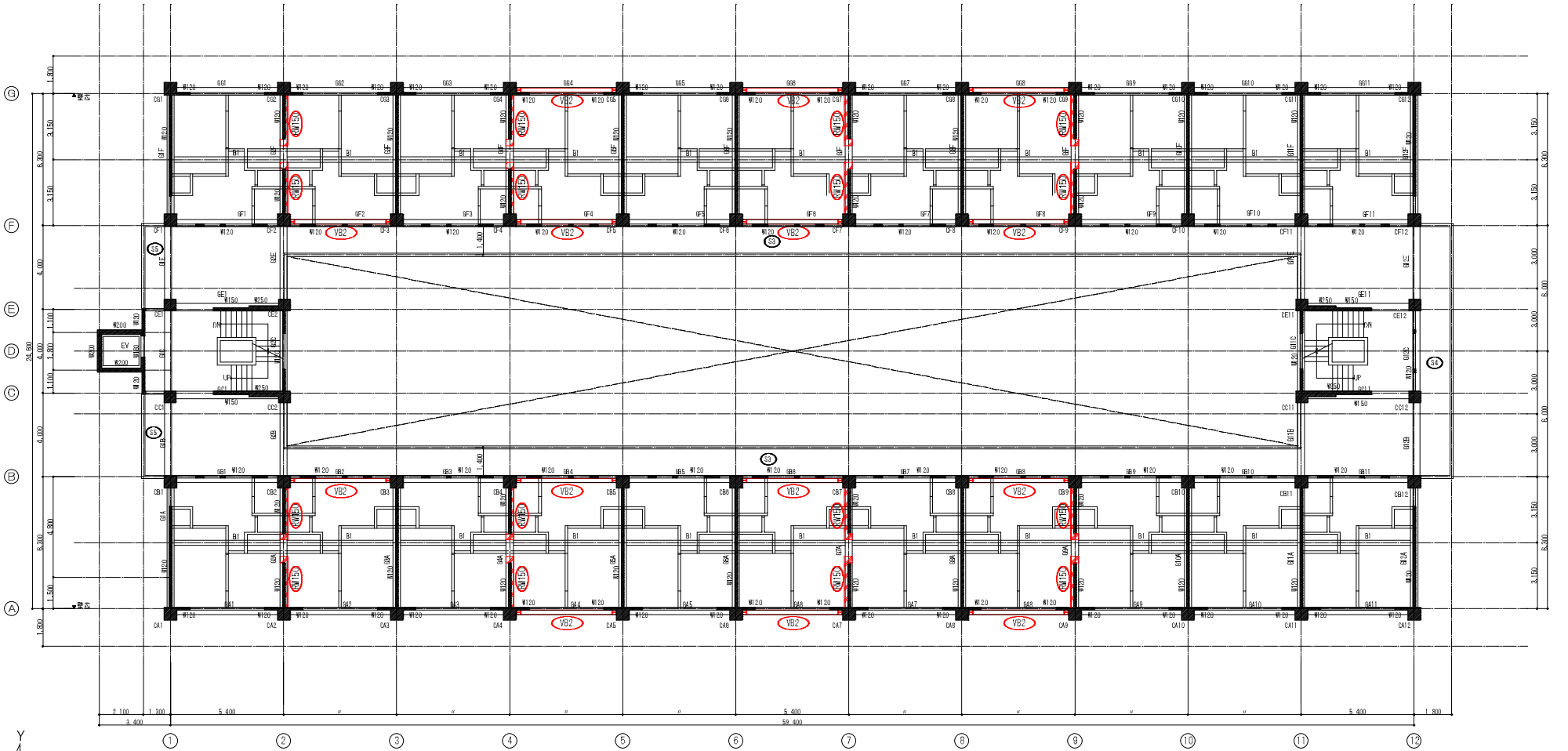
工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 2階梁伏図【補強】	頁数	冊数	図章No.
縮尺 A1 1/100, A3 1/200			S07
日付 平成27年3月	株式会社 コア設計事務所		
	一級建築士事務所 長岡喜博建築設計事務所 一級建築士登録第1402号 高比良 秀博		



3階梁伏図
(A1 1/100、A3 1/200)

VBn 新設捻付鉄骨アレス
RW150 増設耐震壁

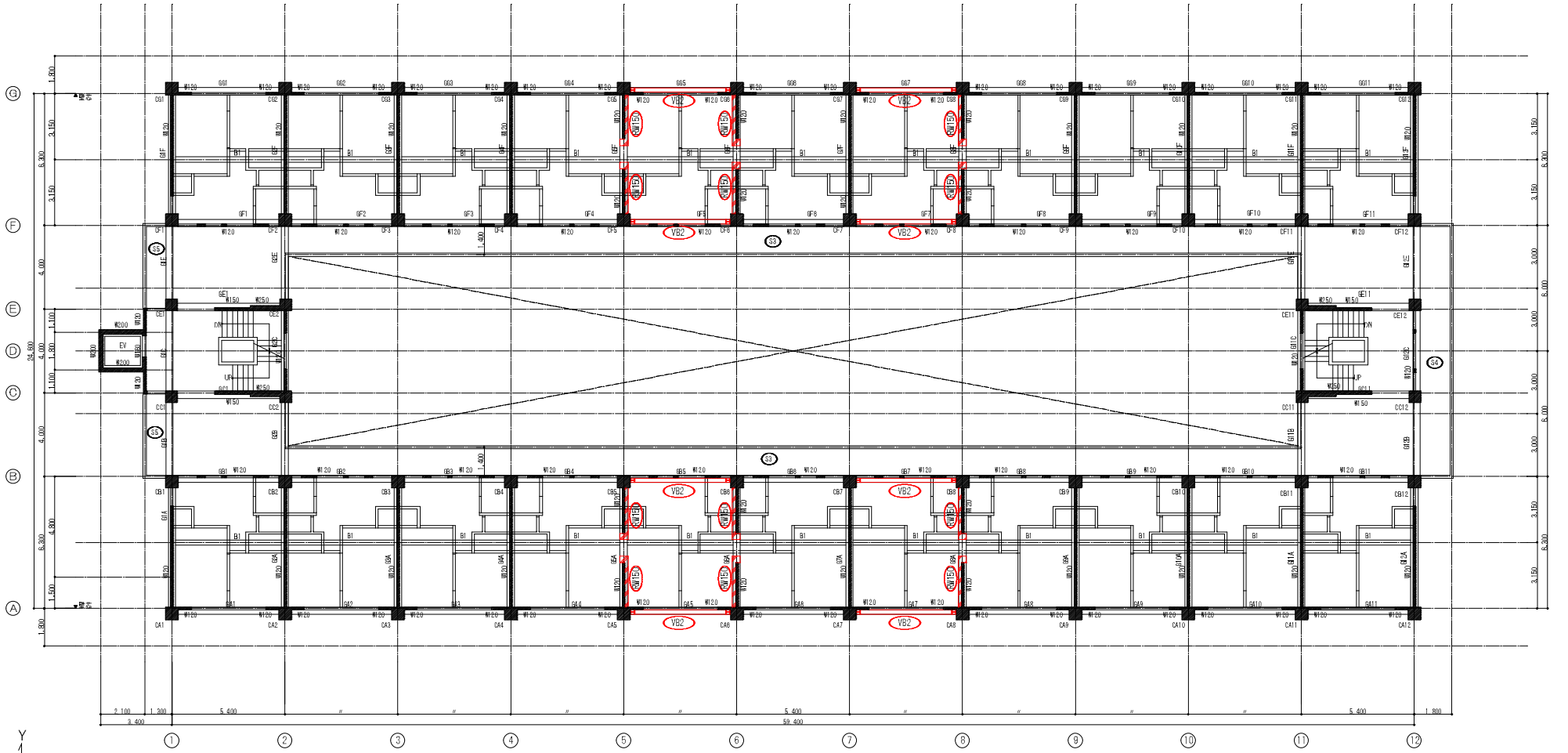
工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 3階梁伏図【補強】	頁数	冊数	図印No.
縮尺 A1 1/100、A3 1/200			S08
日付 平成27年3月	一級建築士事務所 長岡事務所登録第15003号 一級建築士登録第11402号 高比良 秀博		
株式会社 コア設計事務所			



4階梁伏図
 (A1 1/100, A3 1/200)

- VBn 新設捻付鉄骨アレイス
- RW150 増設耐震壁

工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 4階梁伏図【補強】	頁数 1/1	訂正 訂正	図印 No. S09
縮尺 A1 1/100, A3 1/200			
B付 平成27年3月			
株式会社 コア設計事務所			
一級建築士事務所 長崎県知事登録第15003号 一級建築士登録第1402号 高比良 秀博			

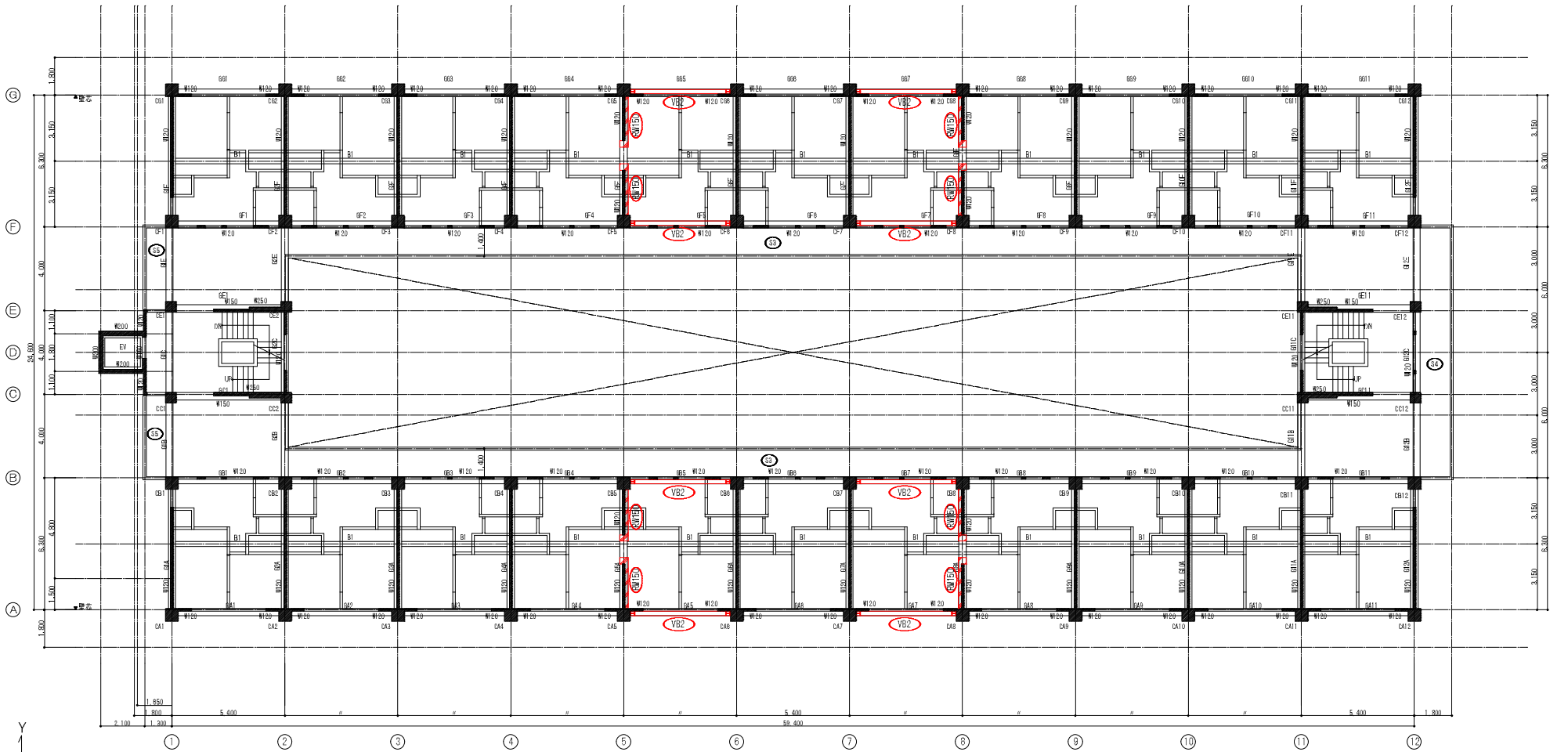


5根梁伏四
(A1 1/100, A3 1/200)

V82 新設捻付鉄骨プレート

RW150 増設耐震壁

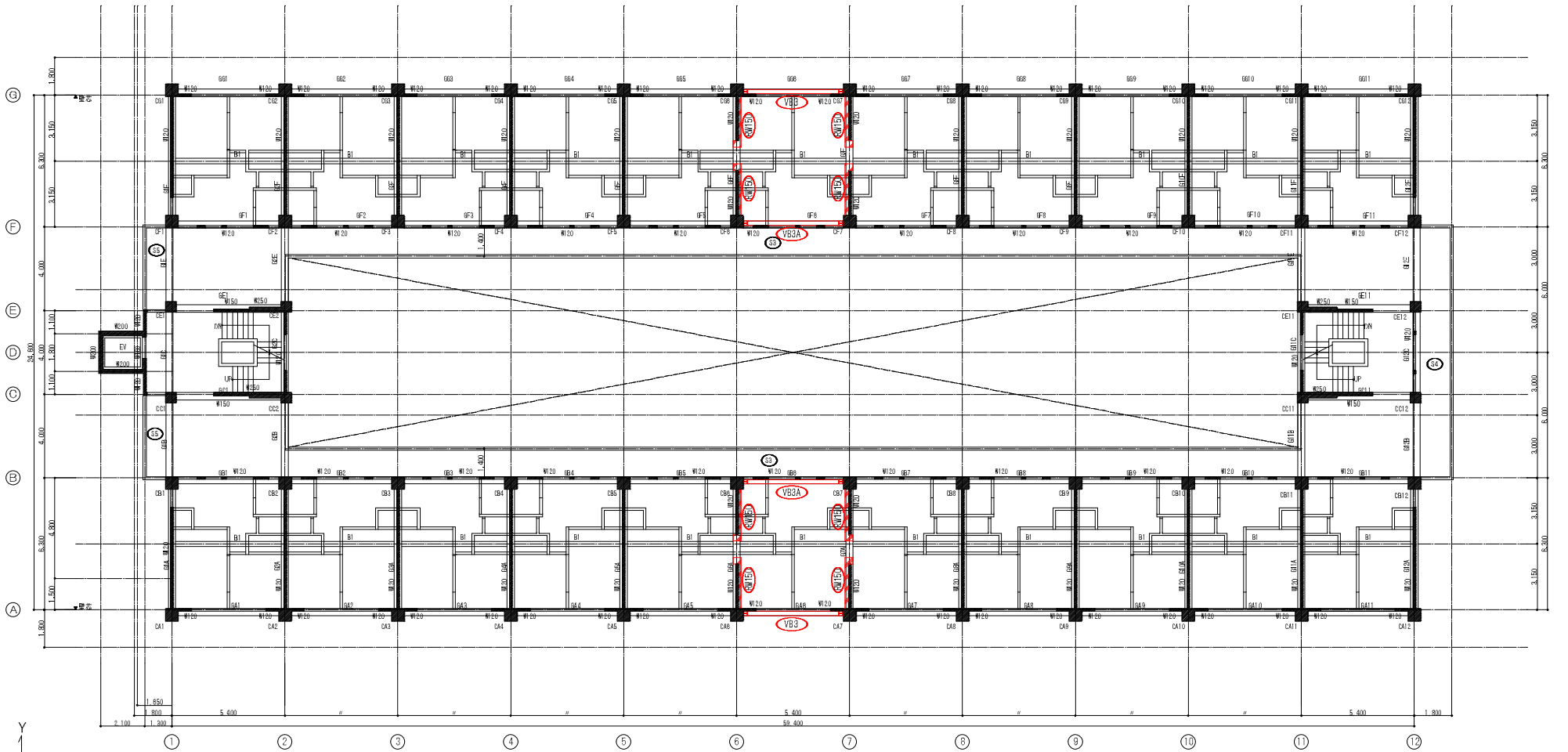
川口団地耐震改修工事実施設計業務 設計名 5根梁伏四【補強】			
縮尺	A1 1/100, A3 1/200	原寸	設計者
日付	平成27年3月		S10
株式会社 コア設計事務所 <small>一級建築士事務所 長岡喜博 建築師15003号 一級建築士登録第1402号 高比良 秀博</small>			



6階梁伏図
 (A1 1/100, A3 1/200)

- Vb2 新設捻付鉄骨プレート
- RW150 増設耐震壁

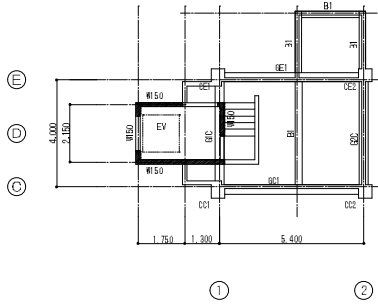
工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 6階梁伏図【補強】	頁数 1/1	訂数 1	図印 No. S11
縮尺 A1 1/100, A3 1/200			
日付 平成27年3月			
株式会社 コア設計事務所 <small>一級建築士事務所 長崎県知事登録第15003号 一級建築士登録第11422号 高比良 秀博</small>			



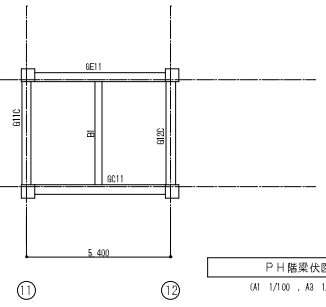
7階梁伏図
 (A1 1/100, A3 1/200)

- VBA 新設枠付鉄骨アレース
- RW150 増設耐震壁

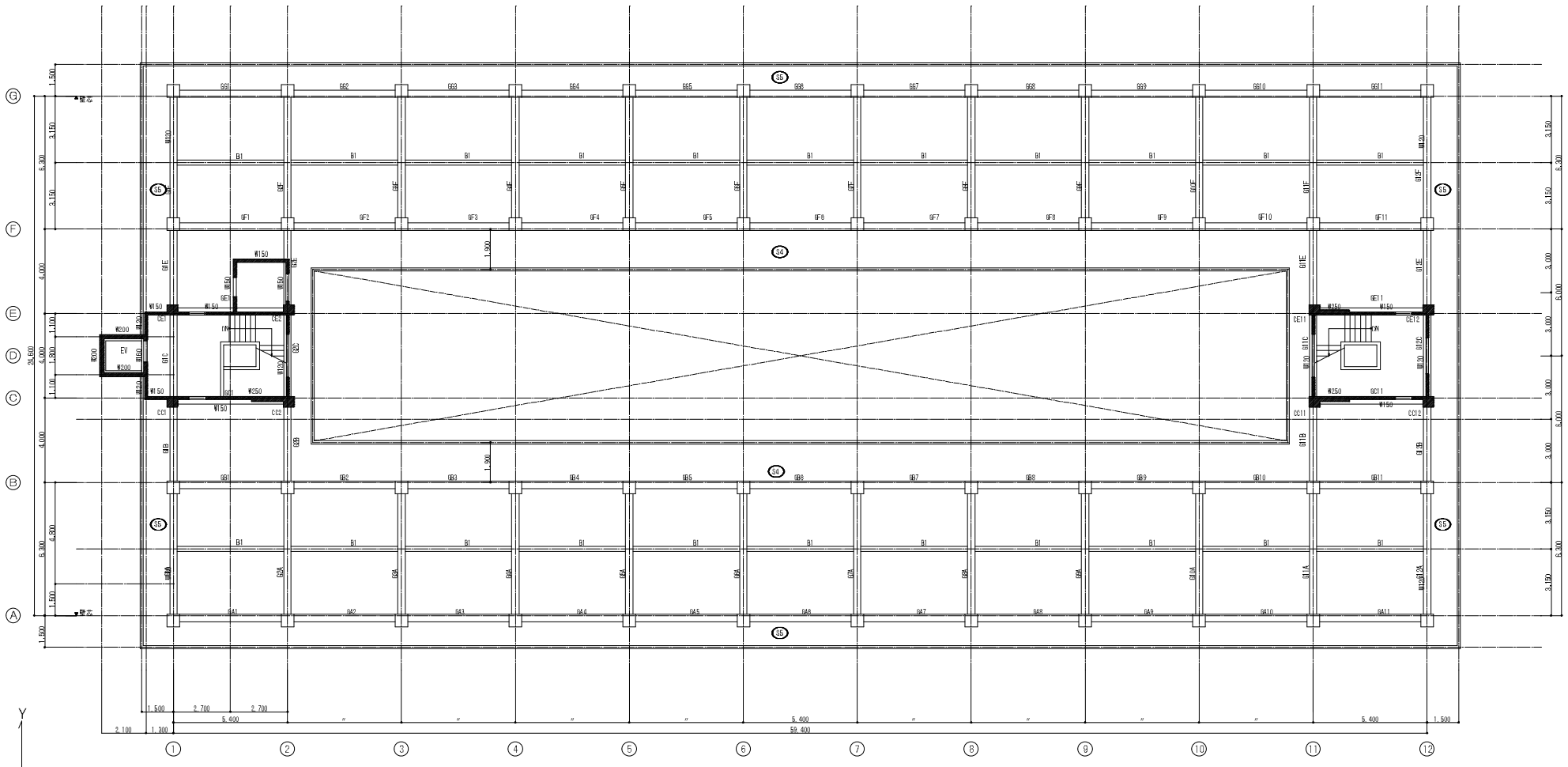
工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 7階梁伏図【補強】	頁数	冊数	図印No.
縮尺 A1 1/100, A3 1/200			S12
日付 平成27年3月			
株式会社 コア設計事務所			
一級建築士事務所 長崎県知事登録第15003号 一級建築士登録第1402号 高比良 秀博			



PH 階梁伏図
(A1 1/100 , A3 1/200)



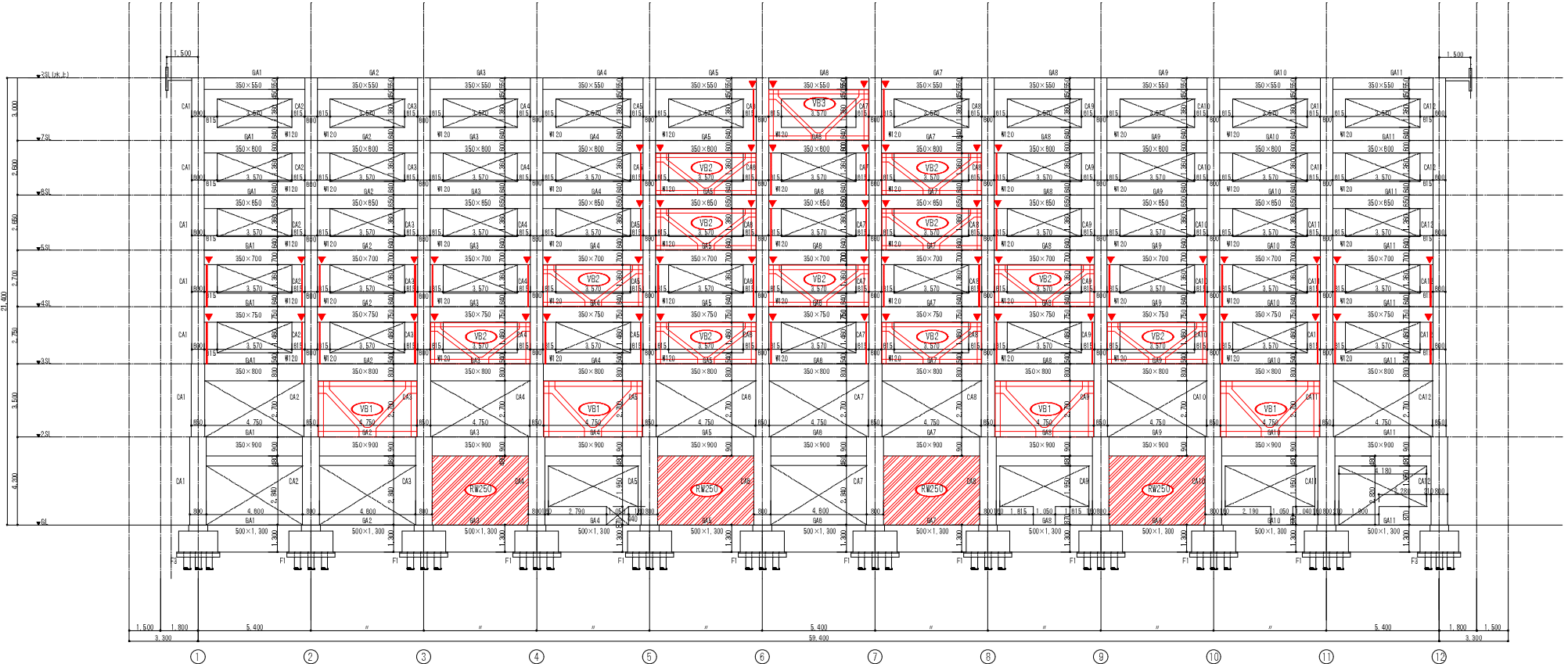
PH 階梁伏図
(A1 1/100 , A3 1/200)



R 階梁伏図
(A1 1/100 , A3 1/200)

VBn 新設挿付鉄骨アトース
RW150 増設耐震壁

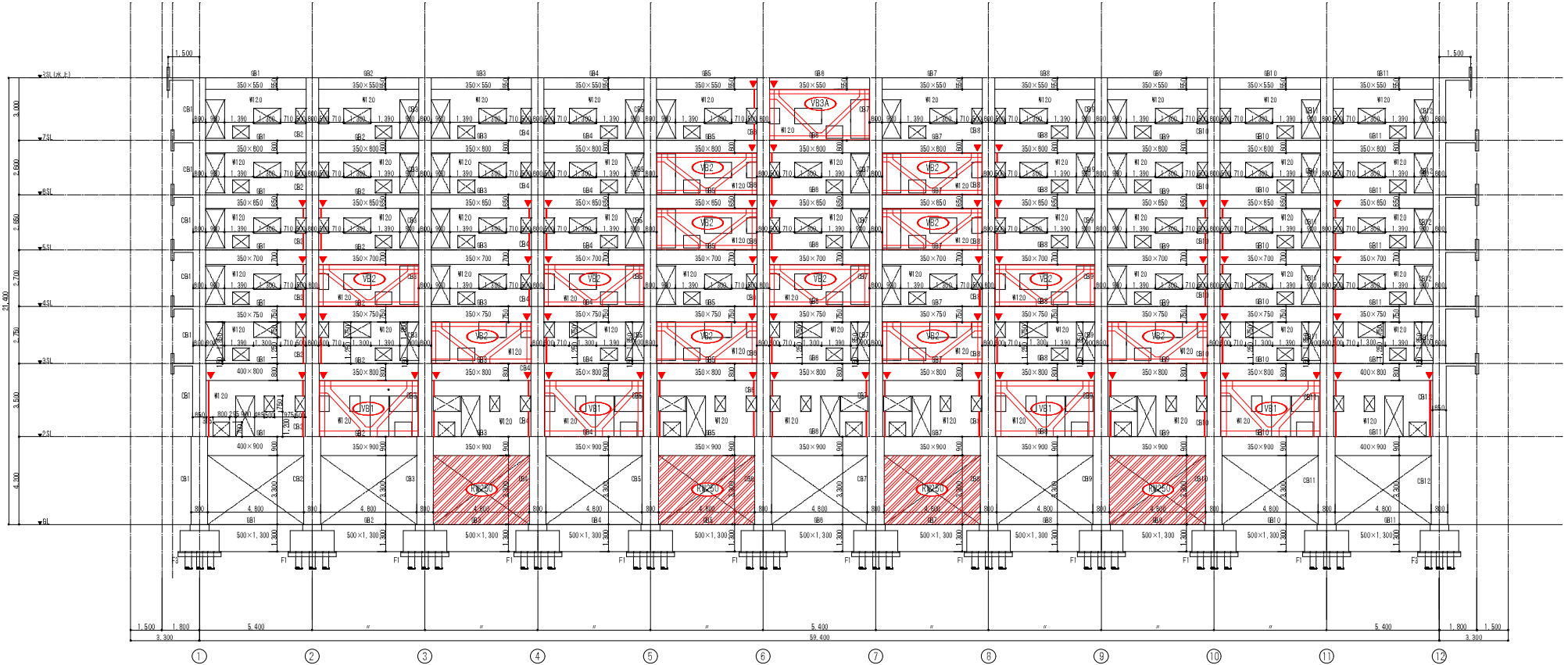
工名	川口団地耐震改修工事実施設計業務		
図名	R 階梁伏図【補強】	頁数	前巻 前巻 図部0
縮尺	A1 1/100 A3 1/200	日付	2027年3月
設計者	株式会社 コア設計事務所	監理者	一級建築士事務所 長岡幸治建築設計事務所 一級建築士登録第1402号 高比良 秀博



A通り軸組図
 (A1 1/100、A3 1/200)

- R250 増設耐震壁
- VBn 新設挿付鉄骨プレート
- ▼ 構造スリット

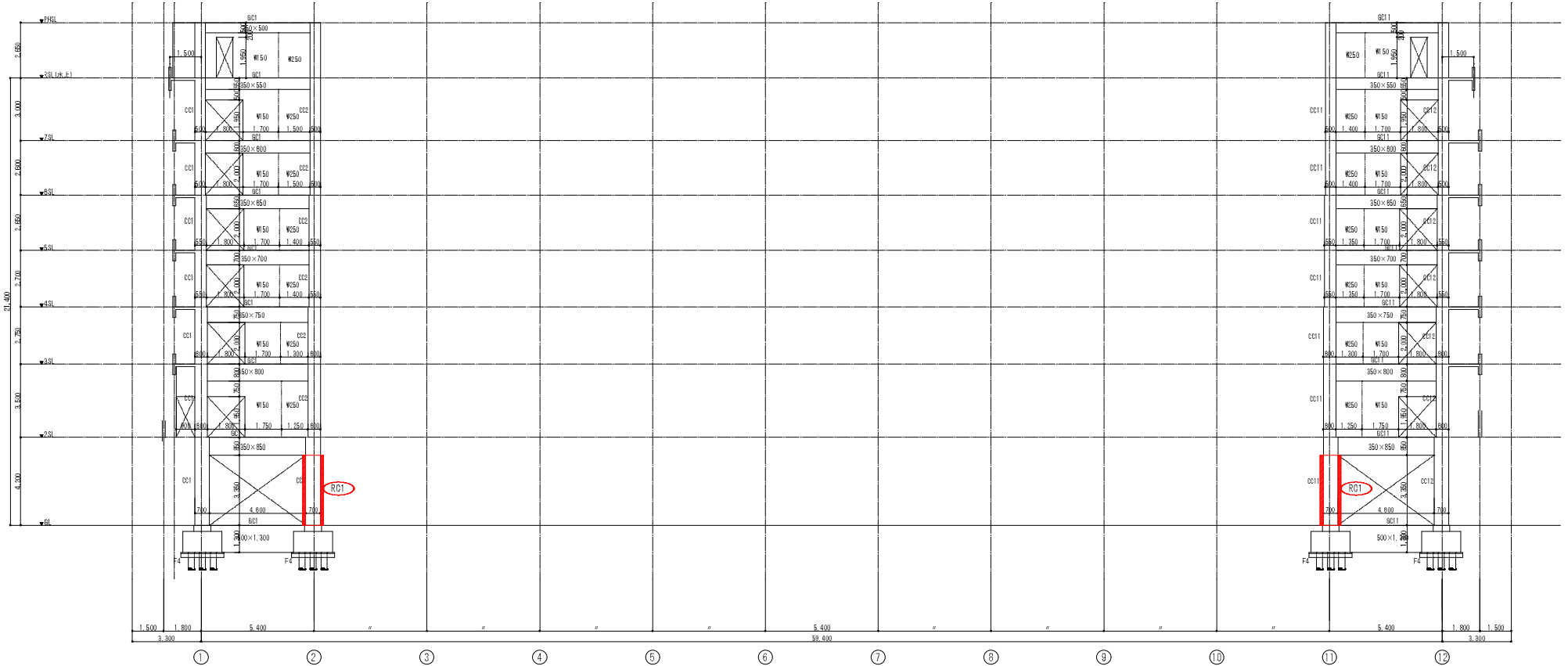
工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 A通り軸組図【補強】	頁数	冊数	図印No.
縮尺 A1 1/100、A3 1/200			
日付 平成27年3月			
株式会社 コア設計事務所			
一級建築士事務所 長岡真由美建築設計士事務所 一級建築士登録第1422号 高比良 秀博			



日通リ軸組図
 (A1 1/100, A3 1/200)

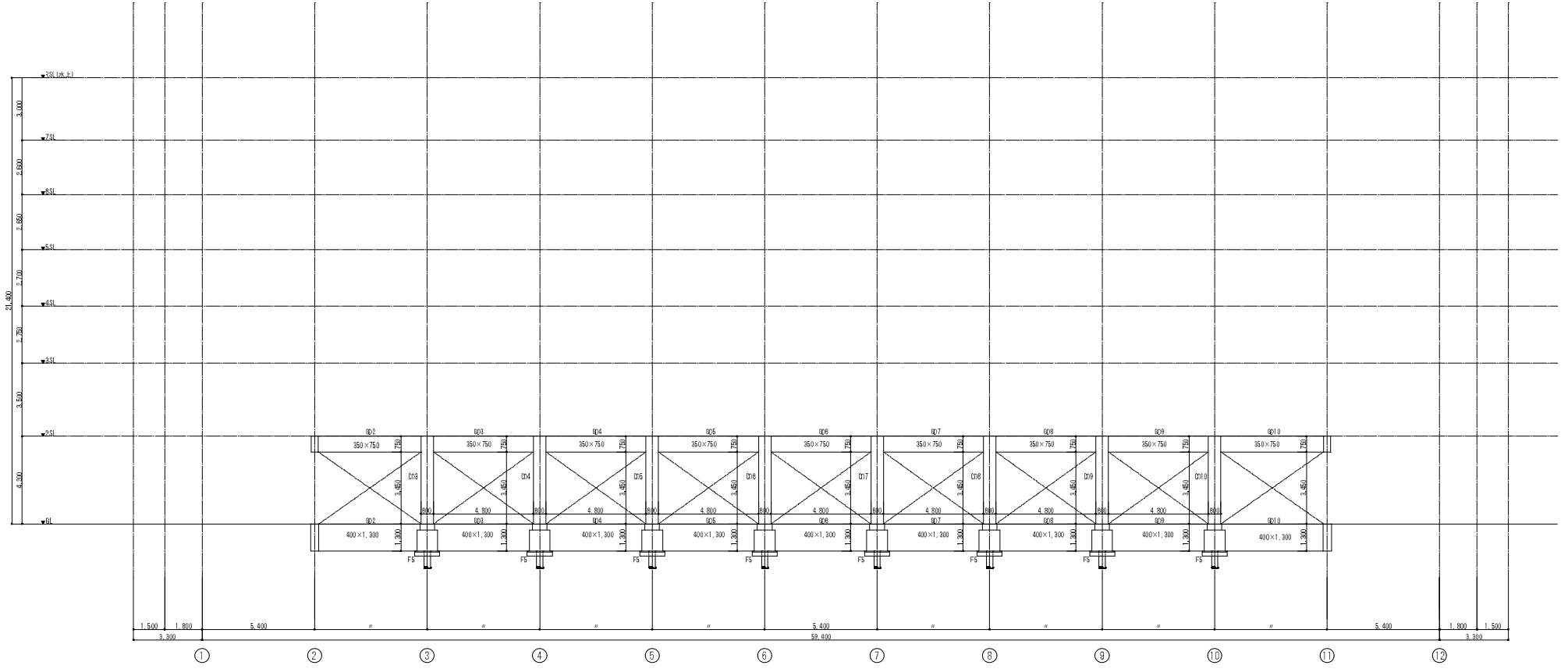
- R250 増設耐震壁
- VBn 新設棒付鉄骨プレート
- ▼ 構造スリット

工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 日通リ軸組図【補強】	頁数	冊数	図印No.
縮尺 A1 1/100, A3 1/200			S15
日付 平成27年3月	一級建築士事務所 長岡豊年建築設計事務所 一級建築士登録第1422号 高比良 秀博		
株式会社 コア設計事務所			



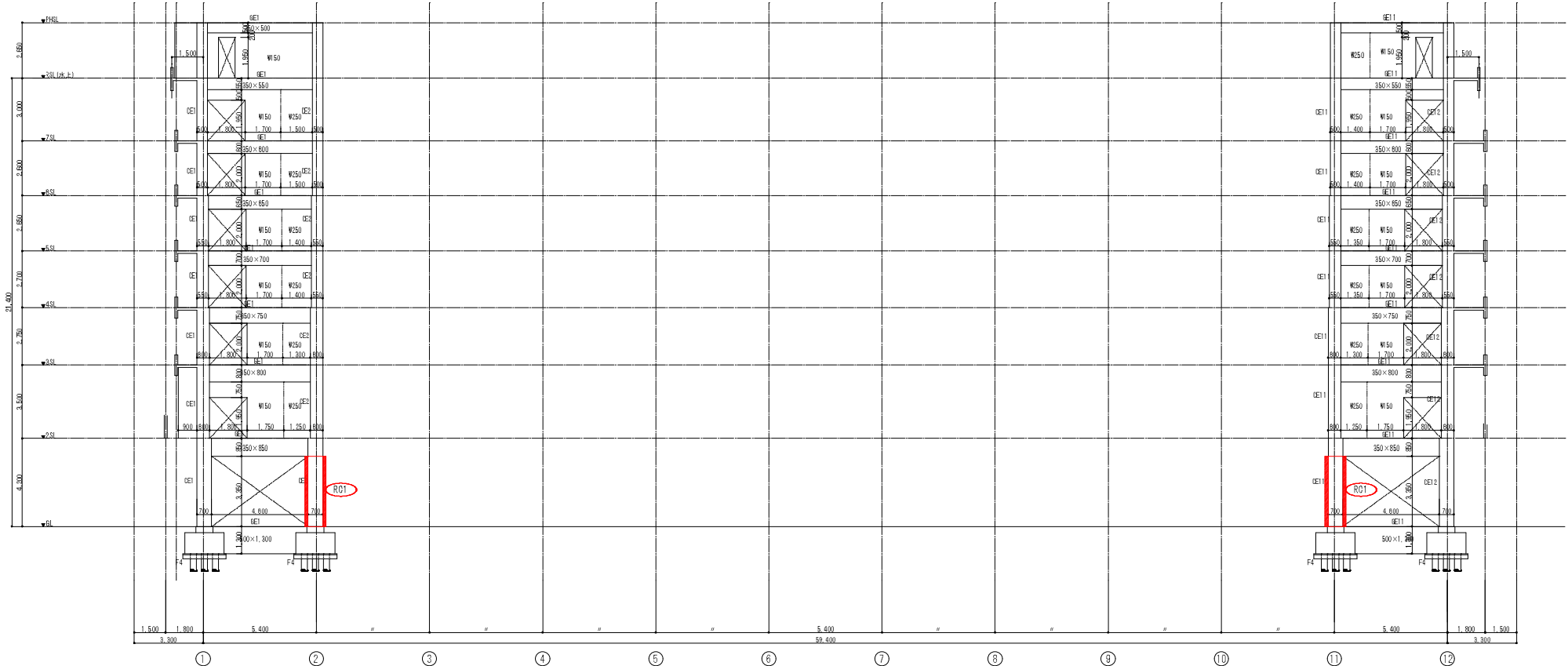
C 通し輪組図
(A1 1/100 , A3 1/200)

工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 C 通し輪組図 【補強】	頁数 1/1	訂正 訂正	図印NO. S16
縮尺 A1 1/100 A3 1/200			
日付 平成27年3月			
一級建築士事務所 長岡豊年建築設計事務所 株式会社 コア設計事務所 一級建築士 佐藤 隆 監理 高比良 秀博			



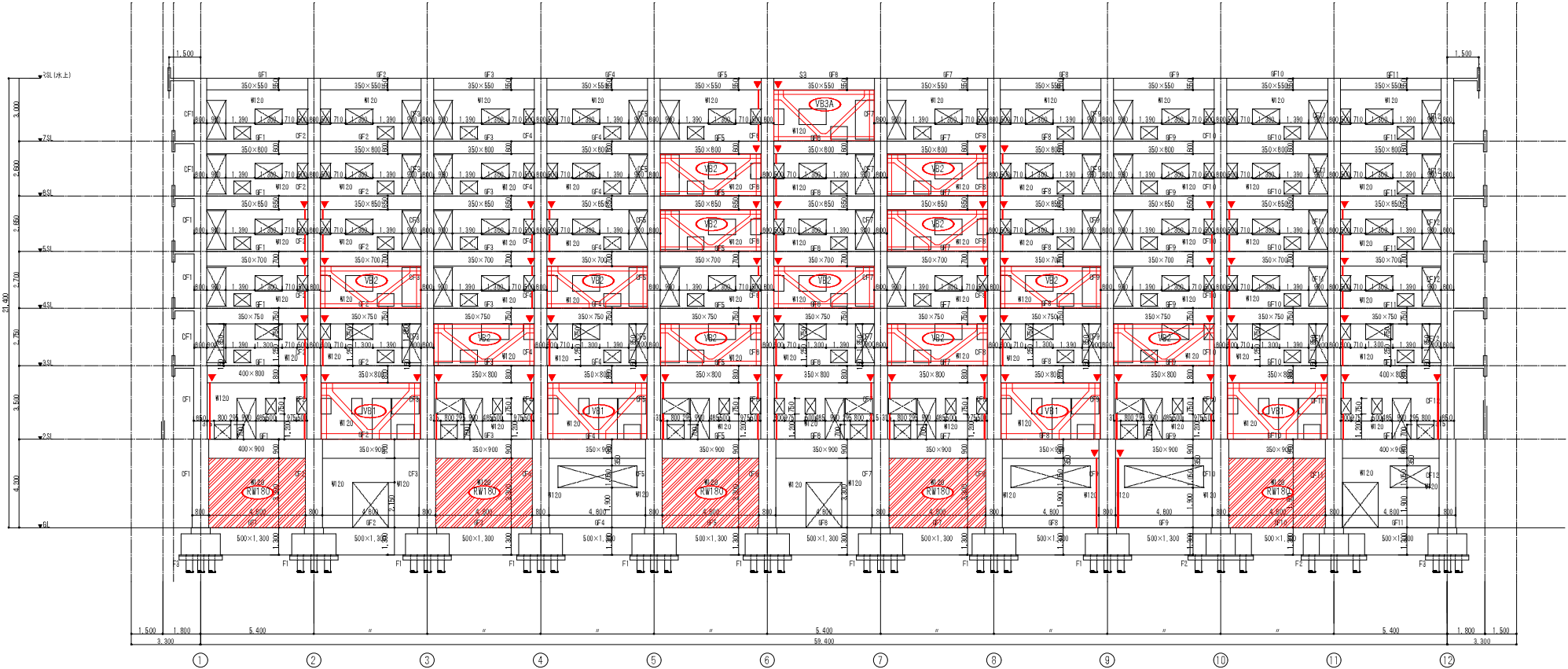
D通身軸組圖
(A1 1/100 , A3 1/200)

工務 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 D通身軸組圖 【補強】	原 図	訂 正	図印NO.
縮 尺 A1 1/100 A3 1/200			S17
日 付 平成27年3月	一級建築士事務所 長岡喜博建築設計事務所 株式会社 コア設計事務所 一級建築士登録第1422号 高比良 秀博		



E 通身軸組圖
(A1 1/100 , A3 1/200)

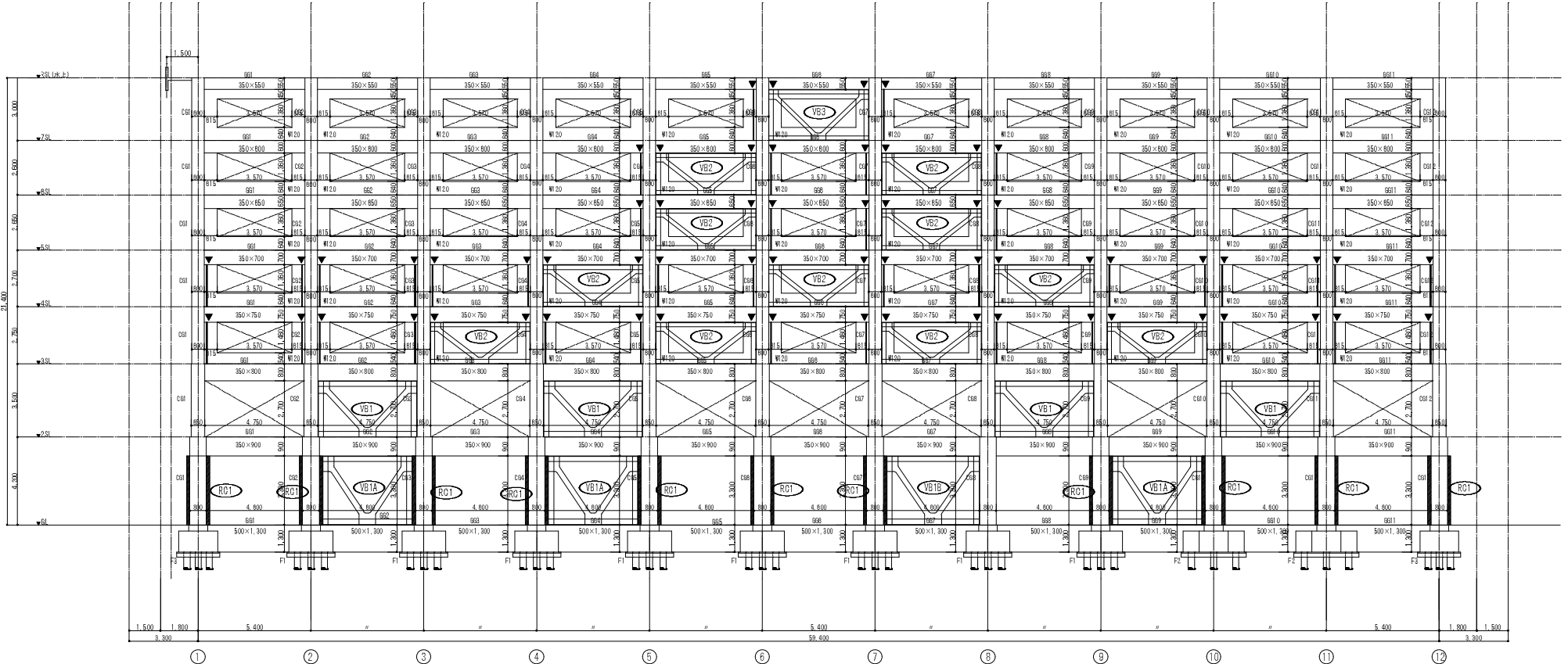
工務 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 E 通身軸組圖 【補強】	原 図	訂 正	図印NO.
縮 尺 A1 1/100 A3 1/200			S18
日 付 平成27年3月	一級建築士事務所 長岡豊年建築設計事務所 一級建築士登録第11492号 高比良 秀博		
株式会社 コア設計事務所			



F 通り軸組図
 (A1 1/700 , A3 1/200)

- RWT120 増設耐震壁
- VBn 新設挿付鉄骨プレート
- ▼ 構造スリット

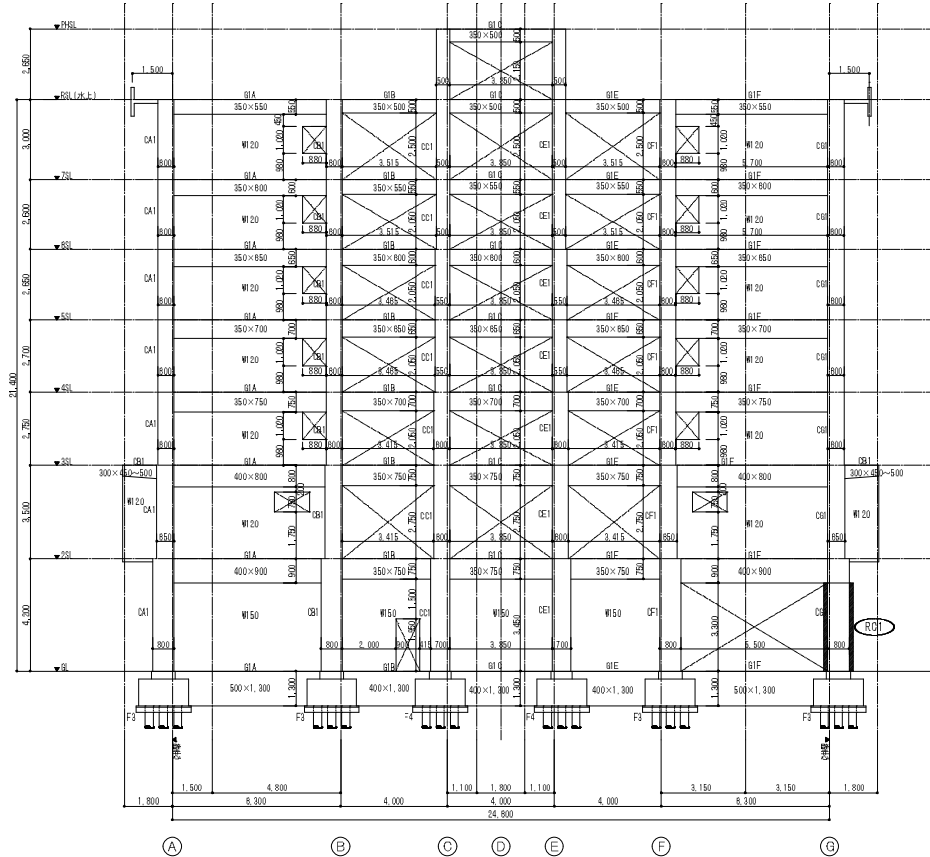
工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 F 通り軸組図 【補強】	頁数	冊数	図番 No.
縮尺 A1 1/700 A3 1/200			S19
日付 平成27年3月	一級建築士事務所 長岡興隆建築設計事務所 一級建築士登録第1422号 高比良 亮博		
株式会社 コア設計事務所			



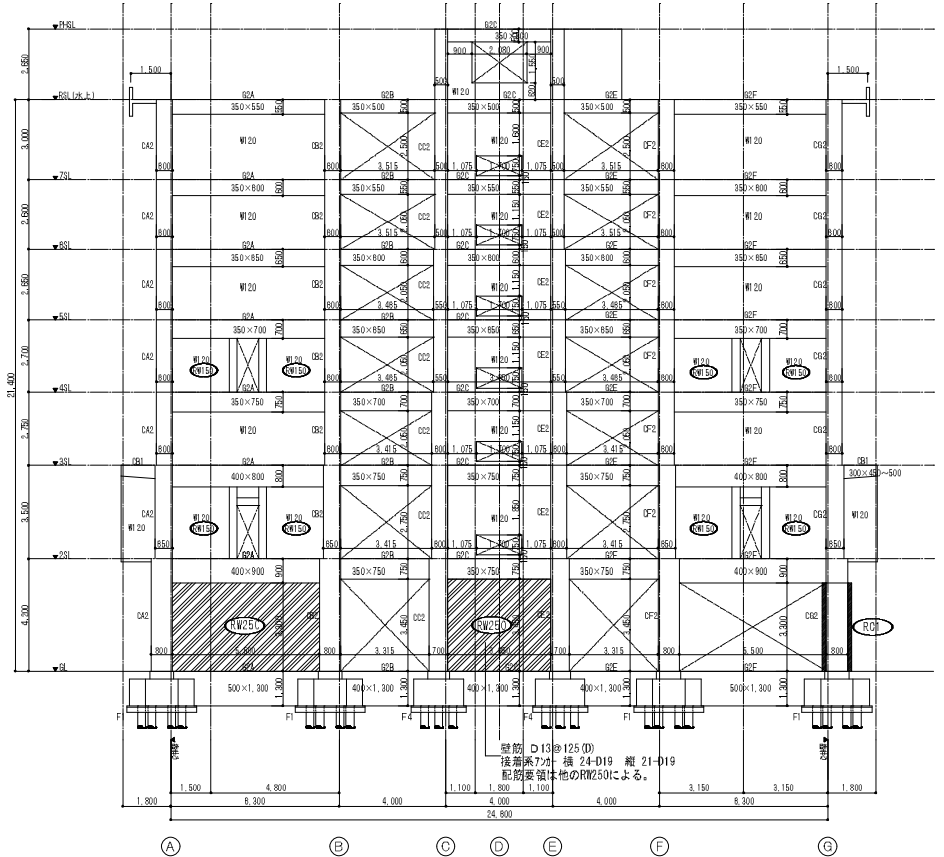
G 通り輪組図
 (A1 1/100 , A3 1/200)

- ▽ VBn 新設挿付鉄骨プレート
- RC1 コナリト柱巻き補強
- ▼ 構造スリット

工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 G 通り輪組図 【補強】	頁数	冊数	図印No.
縮尺 A1 1/100 A3 1/200			S20
日付 平成27年3月	一級建築士事務所 長岡興地建設事務所15003号 一級建築士登録第1402号 高比良 秀博		
株式会社 コア設計事務所			



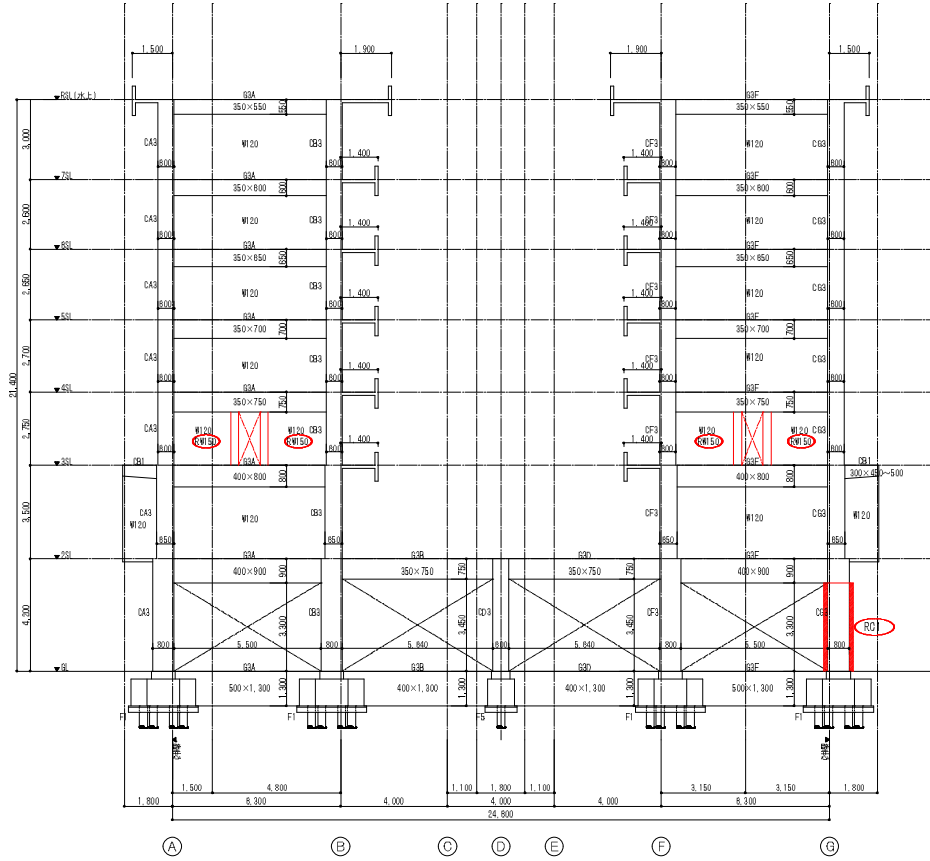
1通り軸組図
(A1 1/100, A3 1/200)



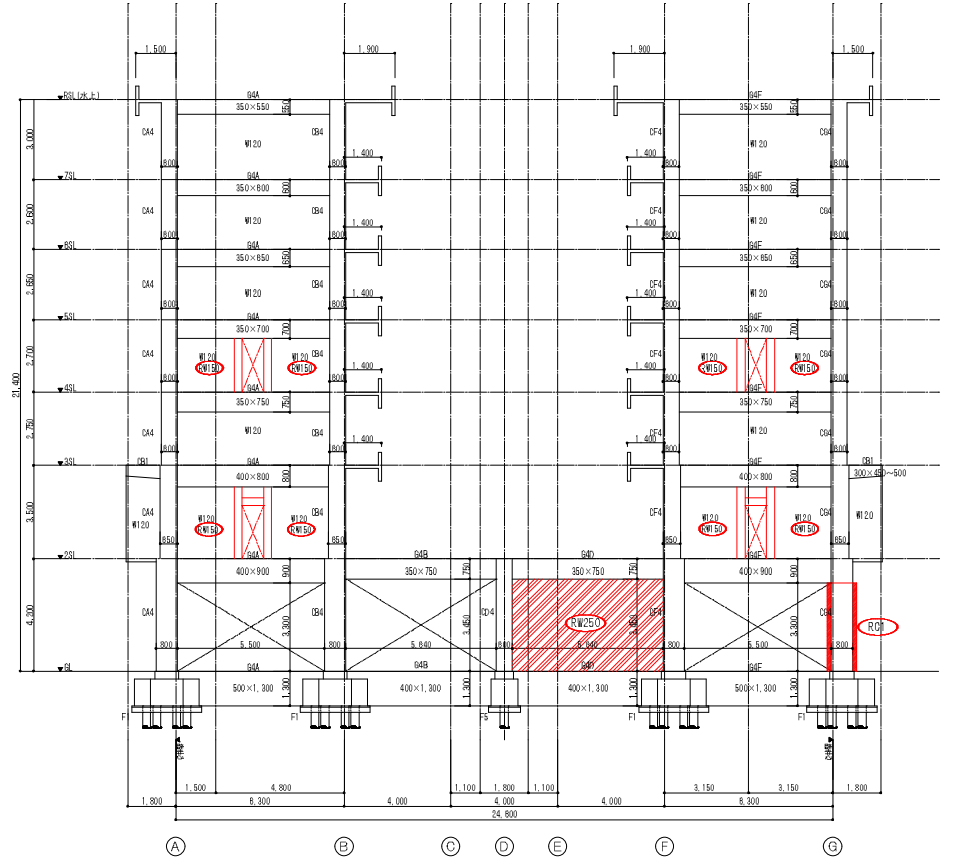
2通り軸組図
(A1 1/100, A3 1/200)

- RW250 増設耐震壁
- RW150 増設耐震壁
- RC1 コアリット柱巻き補強

工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 1・2通り軸組図【補強】	頁数	冊数	図印No.
縮尺 A1 1/100, A3 1/200			S21
日付 平成27年3月	一級建築士事務所 長岡年寿建築設計事務所 一級建築士事務所 高比良 秀博		
株式会社 コア設計事務所			



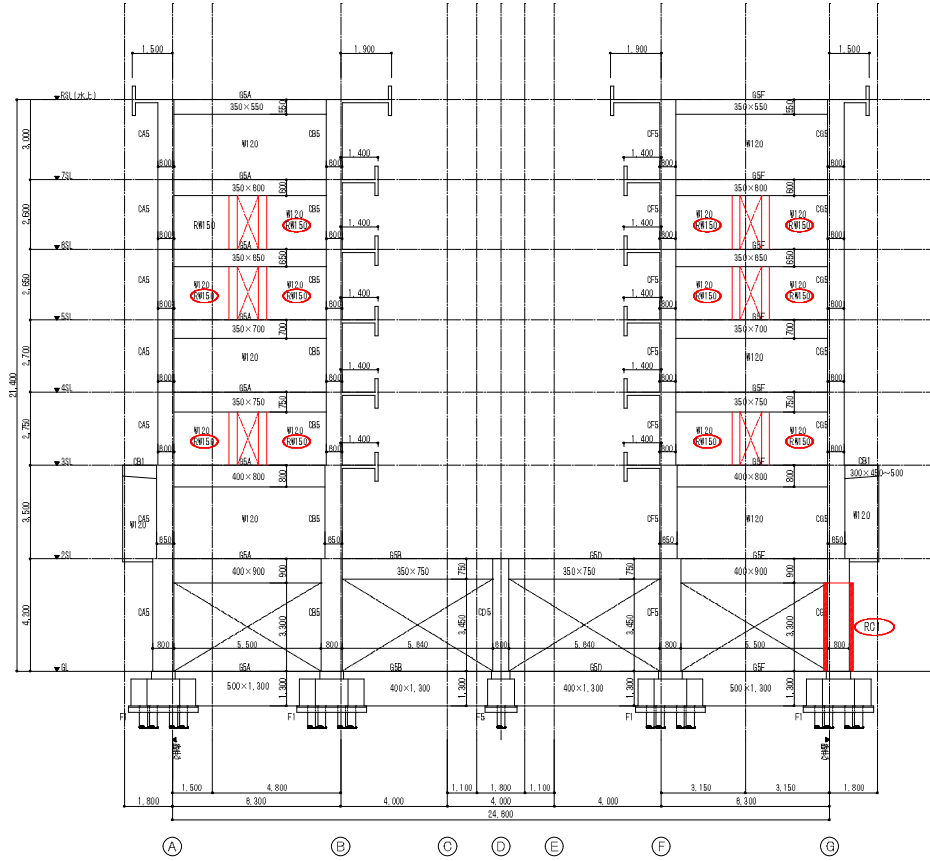
3通り軸組図
(A1 1/100, A3 1/200)



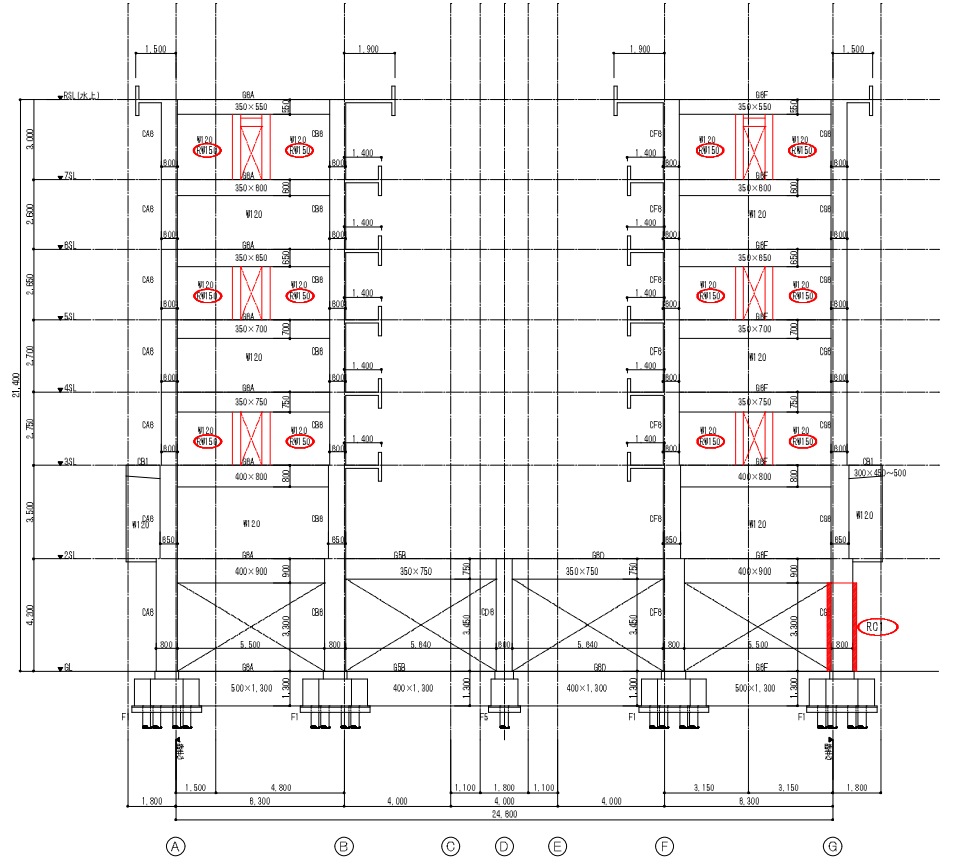
4通り軸組図
(A1 1/100, A3 1/200)

- RW250 増設耐震壁
- RW150 増設耐震壁
- RC1 コアリット柱巻き補強

工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 3・4通り軸組図【補強】	期日	頁数	図印No.
縮尺 A1 1/100, A3 1/200			S22
日付 平成27年3月	一級建築士事務所 長岡興地建築設計事務所 一級建築士登録第1432号 高比良 秀博		
株式会社 コア設計事務所			



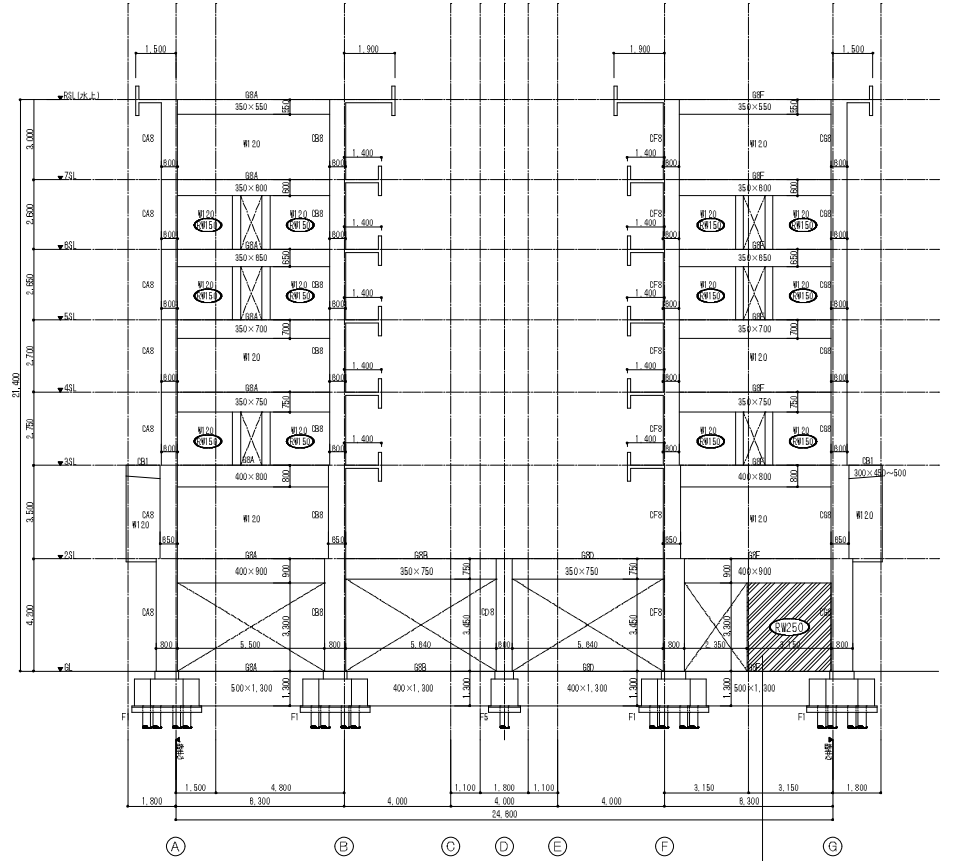
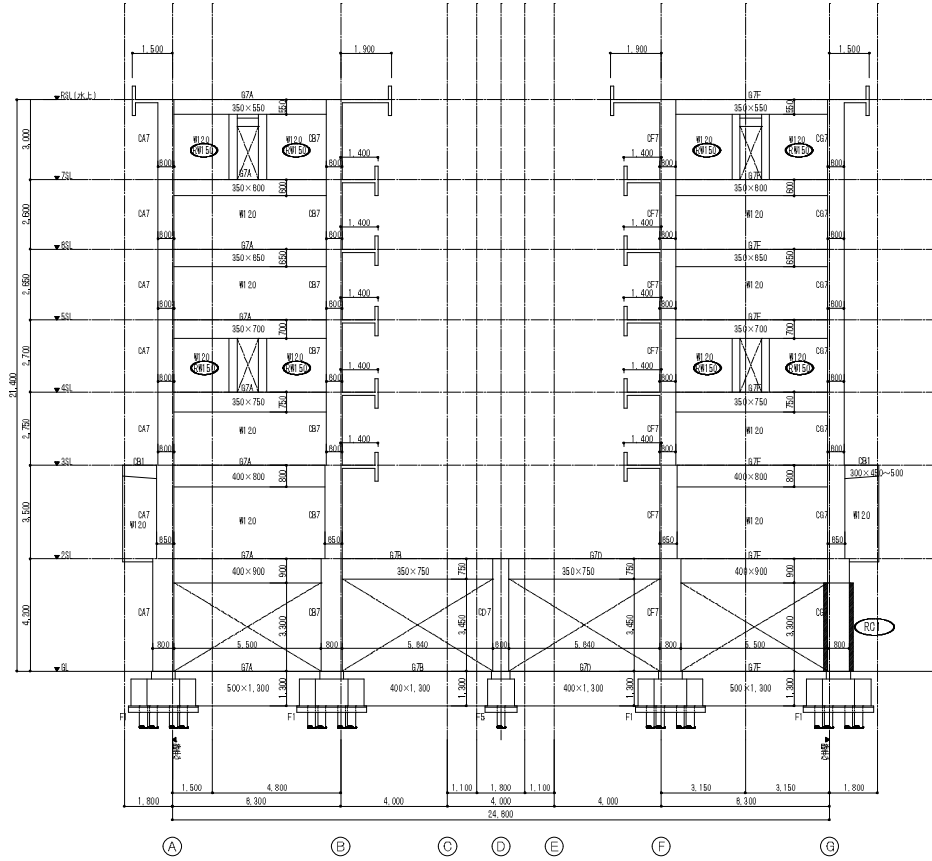
5 通り軸組図
(A1 1/100, A3 1/200)



6 通り軸組図
(A1 1/100, A3 1/200)

- RW150 増設耐震壁
- RC1 コアリット柱巻き補強

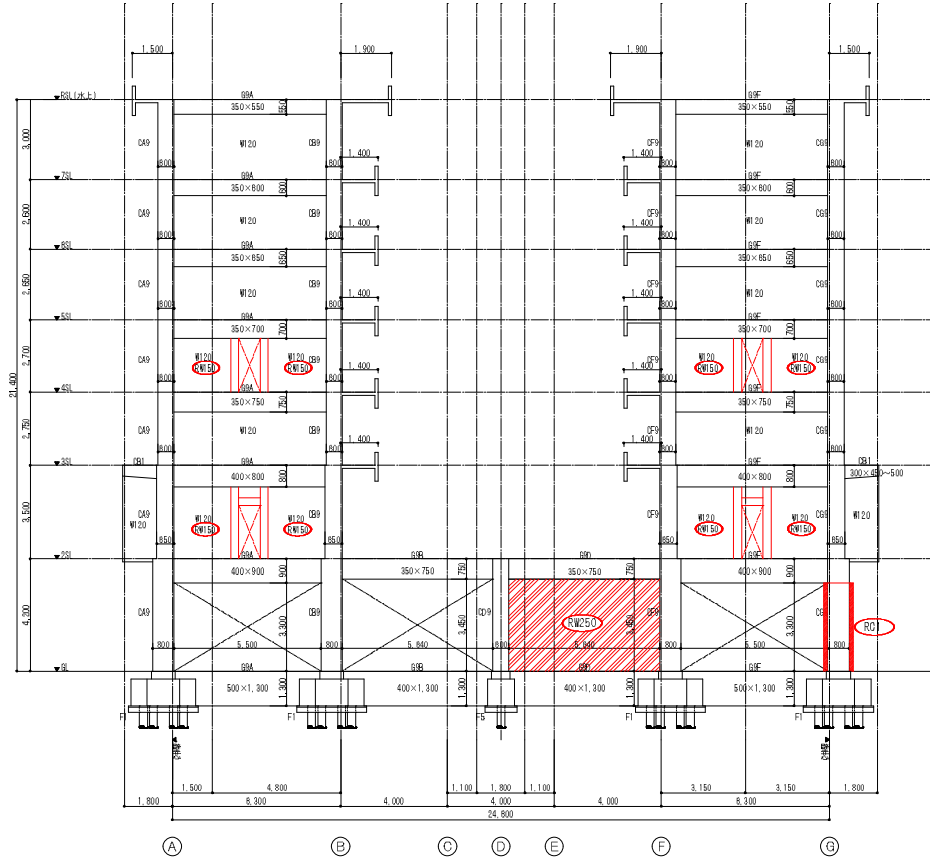
川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 5・6通り軸組図【補強】	頁数	冊数	図印No.
縮尺 A1 1/100, A3 1/200			S23
日付 平成27年3月	一級建築士事務所 長岡豊年事務所15003号 一級建築士事務所1402号 高比良 秀博		
株式会社 コア設計事務所			



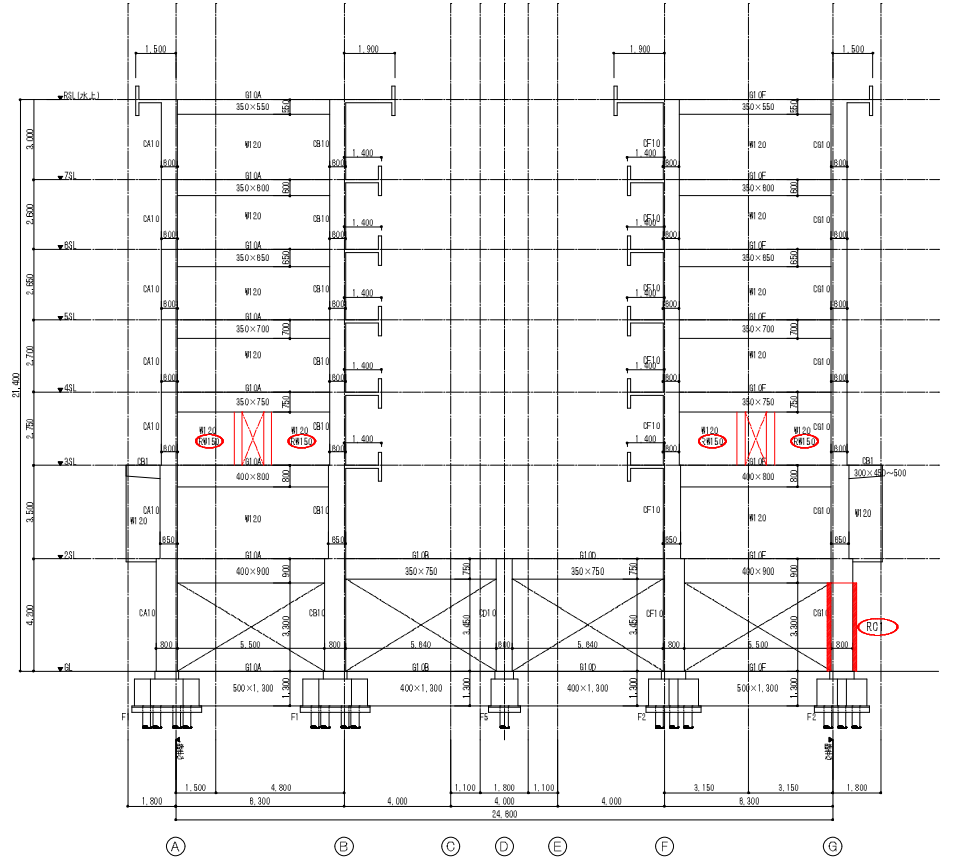
配筋 D13@125(D)
 流線表77号、柱 17-D22 組 17-D22
 配筋変換は他のR#250による。

- ④W150 増設耐震壁
- RC1 コンクリ-柱巻き補強

工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 7・8通り軸組図【補強】	期日	頁数	図番 S24
縮尺 A1 1/100, A3 1/200			
B 付 平成27年3月			
一級建築士事務所 長岡真由美建築設計事務所 株式会社 コア設計事務所 一級建築士事務所 高比良 秀博			



9通り軸組図
(A1 1/100, A3 1/200)



10通り軸組図
(A1 1/100, A3 1/200)

- RW250 増設耐震壁
- RW150 増設耐震壁
- RC1 コアリット柱巻き補強

工名 川口団地耐震改修工事実施設計業務			
図名 9・10通り軸組図【補強】	頁数	冊数	図印No. S25
縮尺 A1 1/100, A3 1/200			
日付 平成27年3月			
一級建築士事務所 長岡豊年建築設計事務所 一級建築士登録第1422号 高比良 秀博 株式会社 コア設計事務所			